ライオン誌12月号 2006年（平成18年）11月20日発行
昭和33年12月19日付第3種郵便物認可
毎月1回20日発行第49巻第6号

IN JAPAN
Official publication
of Lions Clubs
International

December 2006

12

THEME I ペナン・フォーラム

THEME II ライオンズクラブ統計

ROAR 337複合地区

第49巻第6号

C O N T E N T S

Purpose・Passion・Pride

東洋の真珠と呼ばれる魅惑の島で 第45回OSEALフォーラム開催

コー・ツークーン・ペナン州首相の歓迎あいさつ

開会式で披露されたマレーシアの民族舞踊

ジミー・ロス国際会長によるスピーチ

アジアを代表するホテル・E&Oホテルが本部として使用された

11月3～6日、赤道にも程近い美しき熱帯のリゾート地、マレーシア・ペナン島で、第45回東洋・東南アジア・ライオンズ（OSEAL）フォーラムが開催された。

フォーラム・テーマは「Purpose・Passion・Pride（目的・情熱・プライド）」。OSEAL地域の各国から約5700人、日本からはその3分の1に当たる2000人が参加。親交を深めると共に、ライオンズの発展を目指し意見を交わした。

開会式は4日午後3時から、1万人収容のペナン・インターナショナル・スポーツ・アリーナで開催された。会場では午前中からフード・フェスティバルやバザールがオープン、獅子舞、国際文化ショーの民族舞踊なども披露され、参加者は祭りのにぎわいを楽しんだ。

開会式もその熱気のまま、入場してくる国際会長を始めとする国際役員や各国代表を大きな声援を持って出迎えた。が、壇上に上がった役員らのあいさつが進むにつれ暗雲が垂れ込めてきた。途中退席者が続き、閉会する頃には正面アリーナに辛うじて半数の人を残すのみとなってしまった。

この惨状は翌朝行われた協議会議長と地区ガバナーの会議でも言及されることに。退席する会員のマナーだけでなく、内容にも問題はないか。何のための誰のためのフォーラムか、という根本的な問い掛けが行われた。

マンツーマンの対話形式で行われた国際会長と地区ガバナーの懇談会

期間中には他に国際会長と地区ガバナー、国際第1副会長と副地区ガバナーの懇談会、フォーラム・テーマを題材としたセミナーとパネル・ディスカッションも行われ、いずれも会員増強とCSFⅡが話題の中心に上った。会員減少に悩む国が多い中、最初のクラブ誕生から10年目を迎えようとする中国の成長に注目が集まり、今回のフォーラム参加者に若い女性会員が多いことも目を引いた。

ジャパン・レセプションで重松候補（左から3人目）と後藤候補（同4人目）

最終日の閉会式では早速、開会式の反省が生かされた。司会のジェフリー・クア組織委員会委員長がスピーカーに「ぜひ短いスピーチを」とユーモアたっぷりに促し、会場からは期待に応えてくれたスピーカーに惜しみない拍手が送られるなど、全員が一体となって進行を楽しんでいた。

最終決議報告では、OSEAL地域から選出される2007～09年国際理事候補者は後藤隆一元333・C地区ガバナー、重松良次元335複合地区議長とすることが発表された。

次回開催地は韓国・大邱。ペナン・フォーラムの成功を祝し、大邱フォーラムの成功を祈って4日間の幕を閉じた。

「文化懇親の夕べ」で輪になって踊る各国参加者

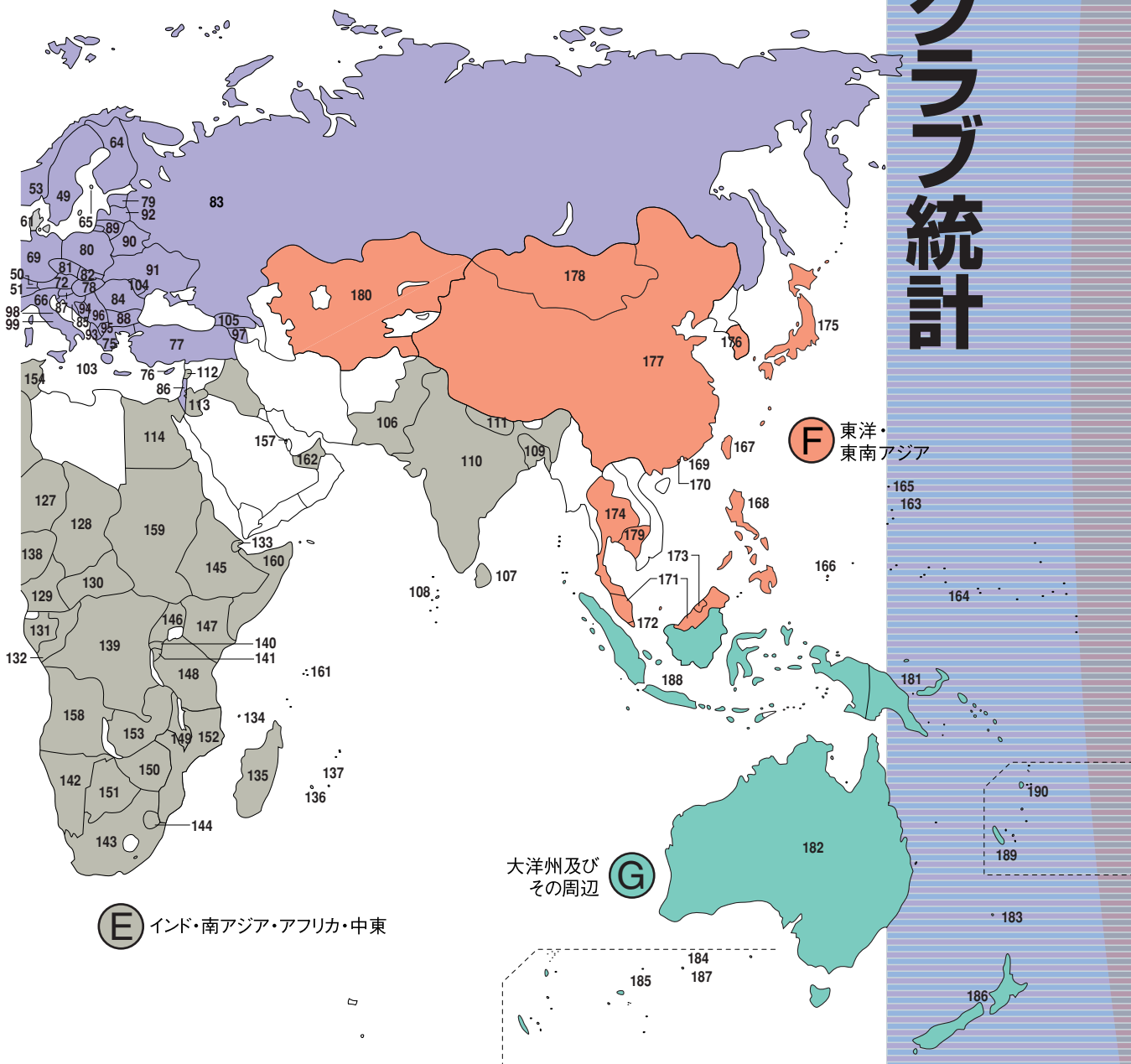
2005・06年度 ライオンズクラブ統計

統計Ⅰ　世界のライオンズ分布図
各地域の情勢
ライオンズ国一覧
東洋・東南アジアの情勢
主要10カ国の情勢
統計Ⅱ　日本のライオンズ
複合地区・準地区情勢図
2005・06年度会員数の推移
複合地区別会員動態
入退会者調査
クラブ・アンケート
統計Ⅲ　アクティビティ
地区別構成比
主要アクティビティ構成比
献血・献眼・献腎・骨髄バンク
青少年関係・高齢者福祉・障害者福祉・環境保全
国際援助・YE・LCIF・資金調達

世界のライオンズ分布図

［2006年6月30日現在］国際本部集計

昨年度末の世界のライオンズは4万5千クラブ、130万1千人

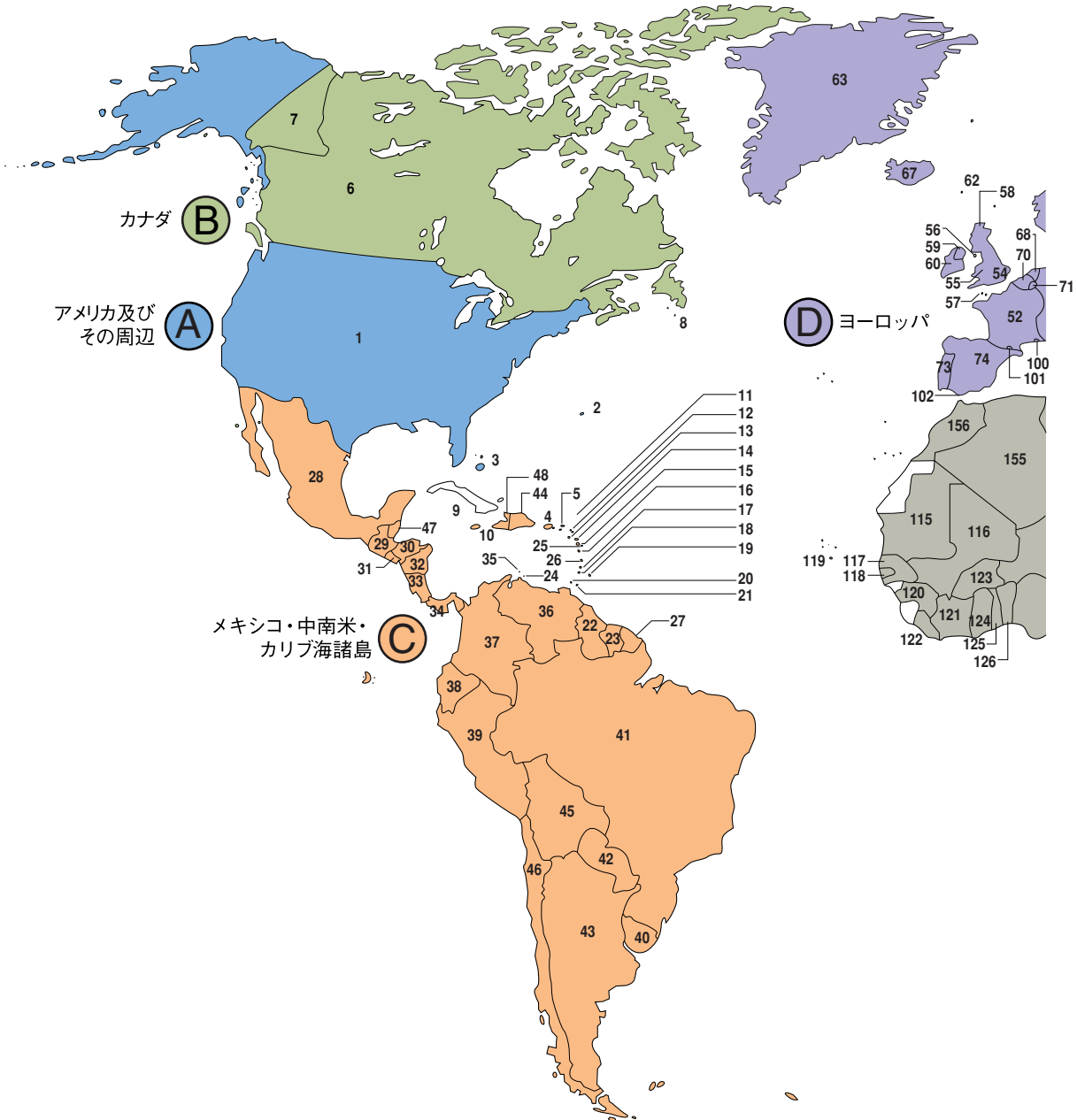
2006年6月末の世界のライオンズクラブは200の国及び地域に

約4万5千クラブ、会員130万1千人だった。この1年で、ライオンズ国は、ソマリアとカザフスタン、モルディブ、セイシェル、アラブ首長国連邦、イラクの6カ国が加わった。

昨年度、新たに結成されたクラブ数は約1100クラブ、解散が1400クラブで、300クラブの純減。会員数も約16万6千人の入会に対し、18万7千人の退会で、前年度に比べ2万1千人減となった。

七つの会則地域別のクラブ数は、ヨーロッパ地域とインド・南アジア・アフリカ・中東地域でわずかに純増だったが、残りの地域はすべて純減。会員数では全地域が純減となった。

日本の属する東洋・東南アジア地域では、韓国が19クラブ、約1800人の純増をマーク。一方、日本は17クラブ、約3300人の純減で、両者の差がまた縮まった。

主要10カ国では、ドイツと韓国だけがクラブ数、会員数共に純増。アメリカの200クラブ、1万1千人の純減が目立っている。

次ページに掲載した「世界のライオンズ国一覧」の中で、国名の前にある番号は本地図の番号と対応しているので、比べながら見て頂きたい。

No.	国名	地区番号	クラブ数	会員数	結成年
57	チャネル諸島（英）	105	2	73	1963
58	スコットランド（英）	105	21	349	1952
59	北アイルランド（英）	105	21	385	1958
60	アイルランド	105	95	2,398	1955
61	デンマーク	106	300	6,973	1950
62	フェロー諸島（デ）	106	5	139	1966
63	グリーンランド（デ）	106	6	96	1988
64	フィンランド	107	948	26,653	1950
65	オーランド島（フィ）	107	5	182	1955
66	イタリア	108	1,266	50,157	1951
67	アイスランド	109	86	2,207	1951
68	オランダ	110	402	11,511	1951
69	ドイツ	111	1,358	45,514	1951
70	ベルギー	112	279	7,505	1952
71	ルクセンブルク	113	21	862	1953
72	オーストリア	114	217	7,219	1952
73	ポルトガル	115	112	2,949	1953
74	スペイン	116	101	2,644	1964
75	ギリシャ	117	77	1,963	1954
76	キプロス	117/未	33	1,197	1954
77	トルコ	118	361	8,591	1963
78	ハンガリー	119	58	1,165	1989
79	エストニア	120	55	1,206	1989
80	ポーランド	121	54	1,178	1989
81	チェコ	122	25	571	1990
82	スロバキア	122	15	335	1990
83	ロシア	123/未	27	503	1990
84	ルーマニア	124	40	998	1990
85	クロアチア	126	58	1,514	1990
86	イスラエル	128	33	929	1960
87	スロベニア	129	46	1,346	1990
88	ブルガリア	130	25	563	1992
89	リトアニア	131	26	586	1990
90	ベラルーシ	未	6	128	1990
91	ウクライナ	未	6	124	1991
92	ラトビア	未	6	113	1991
93	アルバニア	未	6	115	1993
94	ボスニア・ヘルツェゴビナ	未	6	167	1996
95	マケドニア	未	8	220	1996
96	セルビア・モンテネグロ	未	2	41	1990
97	アルメニア	未	1	14	2000
98	サンマリノ	未	1	44	1959
99	バチカン	未	1	22	2003
100	モナコ	未	2	71	1961
101	アンドラ	未	1	43	1985
102	ジブラルタル（英）	未	1	28	1977
103	マルタ	未	5	185	1958
104	モルドバ	未	5	144	2002
105	グルジア	未	1	21	2003

E インド･南アジア･アフリカ･中東

No.	国名	地区番号	クラブ数	会員数	結成年
			7,162	185,471	
106	パキスタン	305	306	4,906	1956
107	スリランカ	306	359	9,607	1958
108	モルディブ	306	1	22	2005
109	バングラデシュ	315	432	9,641	1958
110	インド	321～324	4,883	135,827	1956
111	ネパール	325	213	4,807	1971
112	レバノン	351	77	1,504	1952
113	ヨルダン	351	9	183	1953
114	エジプト	352	32	633	1976
115	モーリタニア	403	3	74	1975
116	マリ	403	6	154	1957
117	セネガル	403	6	136	1955
118	ガンビア	403	2	40	2003
119	カボベルデ	403	1	19	1998
120	ギニア	403	5	118	1986
121	コートジボアール	403	15	391	1954
122	リベリア	403	1	40	2002
123	ブルキナファソ	403	12	343	1958
124	ガーナ	403	12	267	1982
125	トーゴ	403	8	199	1957
126	ベニン	403	18	620	1981
127	ニジェール	403	4	111	1960
128	チャド	403	3	55	1956
129	カメルーン	403	13	320	1955
130	中央アフリカ	403	3	57	1955
131	ガボン	403	8	192	1957
132	コンゴ人民共和国	403	9	251	1954
133	ジブチ	403	1	50	1966
134	コモロ	403	1	26	1981
135	マダガスカル	403	19	458	1956
136	レユニオン（仏）	403	5	137	1958
137	モーリシャス	403	6	166	1967
138	ナイジェリア	404	118	2,537	1964
139	コンゴ民主共和国	409	23	542	1957
140	ルワンダ	409	1	27	1959
141	ブルンジ	409	2	67	1957
142	ナミビア	410	10	189	1958
143	南アフリカ	410	159	2,615	1957
144	スワジランド	410	1	15	1979
145	エチオピア	411	5	137	1966
146	ウガンダ	411	43	1,007	1959
147	ケニア	411	80	1,839	1958
148	タンザニア	411	21	512	1963
149	マラウイ	412	17	469	1960
150	ジンバブエ	412	30	502	1959
151	ボツワナ	412	19	418	1968
152	モザンビーク	412	1	31	1993
153	ザンビア	413	55	1,296	1961
154	チュニジア	414	30	606	1968
155	アルジェリア	415	26	410	1953
156	モロッコ	416	40	739	1953
157	バーレーン	未	3	70	1978
158	アンゴラ	未	1	20	2000
159	スーダン	未	1	20	2005
160	ソマリア	未	1	25	2005
161	セイシェル	未	1	20	2006
162	アラブ首長国連邦	未	1	4	2006

F 東洋･東南アジア

No.	国名	地区番号	クラブ数	会員数	結成年
			7,383	260,900	
163	グアム（米）	204	17	434	1949
164	ミクロネシア	204	1	13	1990
165	サイパン（米）	204	3	46	1991
166	パラオ	204	1	16	1996
167	中華民国［台湾］	300	957	31,499	1953
168	フィリピン	301	340	9,644	1949
169	香港（中）	303	59	1,302	1955
170	マカオ（中）	303	2	38	1971
171	マレーシア	308	233	6,130	1959
172	シンガポール	308	72	1,667	1958
173	ブルネイ	308	2	39	1970
174	タイ	310	309	8,645	1959
175	日本	330～337	3,406	119,092	1952
176	韓国	354/355	1,896	79,779	1959
177	中国	380/381	74	2,297	2002
178	モンゴル	未	6	150	1993
179	カンボジア	未	3	59	1996
180	カザフスタン	未	2	50	2005

G 大洋州及びその周辺

No.	国名	地区番号	クラブ数	会員数	結成年
			1,950	44,595	
181	パプアニューギニア	201	4	78	1962
182	オーストラリア	201	1,311	27,782	1947
183	ノーフォーク島（豪）	201	2	37	1964
184	西サモア	202	1	31	1965
185	フィジー	202	5	74	1963
186	ニュージーランド	202	441	11,686	1955
187	米領サモア（米）	202	1	31	1982
188	インドネシア	307	169	4,513	1969
189	ニューカレドニア（仏）	未	13	297	1961
190	バヌアツ	未	1	8	1978
191	タヒチ（仏）	未	2	58	1960

※1国際協会ではライオンズの国及び地理的領域を200と公式に発表しています。本表は国際本部集計を基に作成したものですが、集計表には191の国及び領域のみの記載しかなく、その他9カ国は不明です。
※2米領バージン諸島＝クラブ数6、会員数162

●国名および領域名は『世界の国一覧表』（外務省外務報道官編集）を参考にしました。
略号：未:地区未編成　(蘭)オランダ　(デ)デンマーク　(米)アメリカ　(豪)オーストラリア　(フィ)フィンランド　(英)イギリス　(カ)カナダ　(仏)フランス　(中)中国

ライオンズ国一覧

本表は世界のライオンズ国または地理的領域の地区番号、並びにクラブ数、会員数とその結成年の一覧である。2006年6月30日現在、国際協会は200の国及び地理的領域に45,045クラブ、1,301,457人の会員を数える。

また七つの地域別にクラブ数と会員数を表示した。

なお、国及び領域名の前の番号は、前ページの地図上の数字と合致する。

A アメリカ及びその周辺

国または地理的領域	地区番号	クラブ数	会員数	結成年
（地域合計）		13,281	402,368	
1 アメリカ	1〜50	13,150	397,444	1917
イリノイ州	1	601	19,359	1917
テキサス州	2	946	29,432	1917
オクラホマ州	3	217	6,115	1917
カリフォルニア州	4/21/36	783	23,118	1917
ネバダ州	4	47	1,413	1920
ミネソタ州	5M	574	21,526	1918
ノースダコタ州	5	115	3,354	1921
サウスダコタ州	5	90	2,741	1921
コロラド州	6	166	4,583	1917
アーカンソー州	7	171	4,715	1917
ルイジアナ州	8	195	5,771	1917
アイオワ州	9	366	10,863	1920
ミシガン州	10／11	522	15,726	1919
テネシー州	12	212	5,952	1917
オハイオ州	13	482	14,836	1920
ペンシルベニア州	14	833	25,860	1920
ワイオミング州	15	56	1,455	1920
ニュージャージー州	16	236	6,619	1920
カンザス州	17	308	7,722	1919
ジョージア州	18	255	7,194	1920
ワシントン州	19	253	8,315	1920
アイダホ州	19/39	101	2,654	1923
ニューヨーク州	20	577	17,421	1921
アリゾナ州	21/40	140	3,783	1923
メリーランド州	22	189	6,323	1921
コロンビア特別区	22	8	184	1921
デラウェア州	22	38	1,495	1922
コネチカット州	23	158	5,921	1921
バージニア州	24	313	9,272	1921
インディアナ州	25	434	13,669	1920
ミズーリ州	26	427	12,227	1917
ウィスコンシン州	27	574	20,784	1921
ユタ州	28	84	1,793	1921
ウエストバージニア州	29	201	5,228	1921
ミシシッピ州	30	141	3,623	1921
ノースカロライナ州	31	383	9,232	1922
サウスカロライナ州	32	163	4,877	1922
マサチューセッツ州	33	239	8,351	1922
アラバマ州	34	160	4,240	1922
フロリダ州	35	298	7,565	1922
オレゴン州	36/39	186	5,204	1921
モンタナ州	37	82	2,340	1921
ネブラスカ州	38	164	4,390	1920
ニューメキシコ州	40	66	1,582	1923
メーン州	41	86	2,786	1923
ロードアイランド州	42	34	1,435	1922
ケンタッキー州	43	209	6,168	1920
ニューハンプシャー州	44	89	2,630	1923
バーモント州	45	44	1,378	1924
アラスカ州	49	70	2,467	1944
ハワイ州	50	64	1,753	1926
2 バーミューダ諸島（英）	20	6	184	1946
3 バハマ	35/未	2	42	1953
4 プエルトリコ	51	122	4,678	1936
5 米領バージン諸島（米）※2	51(/60)	1	20	1966

B カナダ

	地区番号	クラブ数	会員数	結成年
（地域合計）		1,749	41,213	
6 カナダ	5M/5/19/37/41/49/A/U	1,747	41,164	1920
オンタリオ州	5M/A/U	575	14,636	1920
マニトバ州	5M	90	1,846	1921
サスカチワン州	5	175	4,066	1928
ブリティッシュ·コロンビア州	19/37/49	234	5,237	1921
アルバータ州	37	220	4,724	1929
ノースウエスト·テリトリーズ	37/49	2	21	1951
ニューブラウンズウィック	41	63	1,392	1938
プリンスエドワード島	41	26	508	1952
ノバスコシア州	41	70	1,864	1945
ニューファウンドランド州	41	94	2,243	1948
ケベック州	A/U	191	4,499	1922
7 ユーコン・テリトリー（カ）	49	7	128	1951
8 サンピエール・ミクロン諸島	U	2	49	1953

C メキシコ·中南米·カリブ海諸島

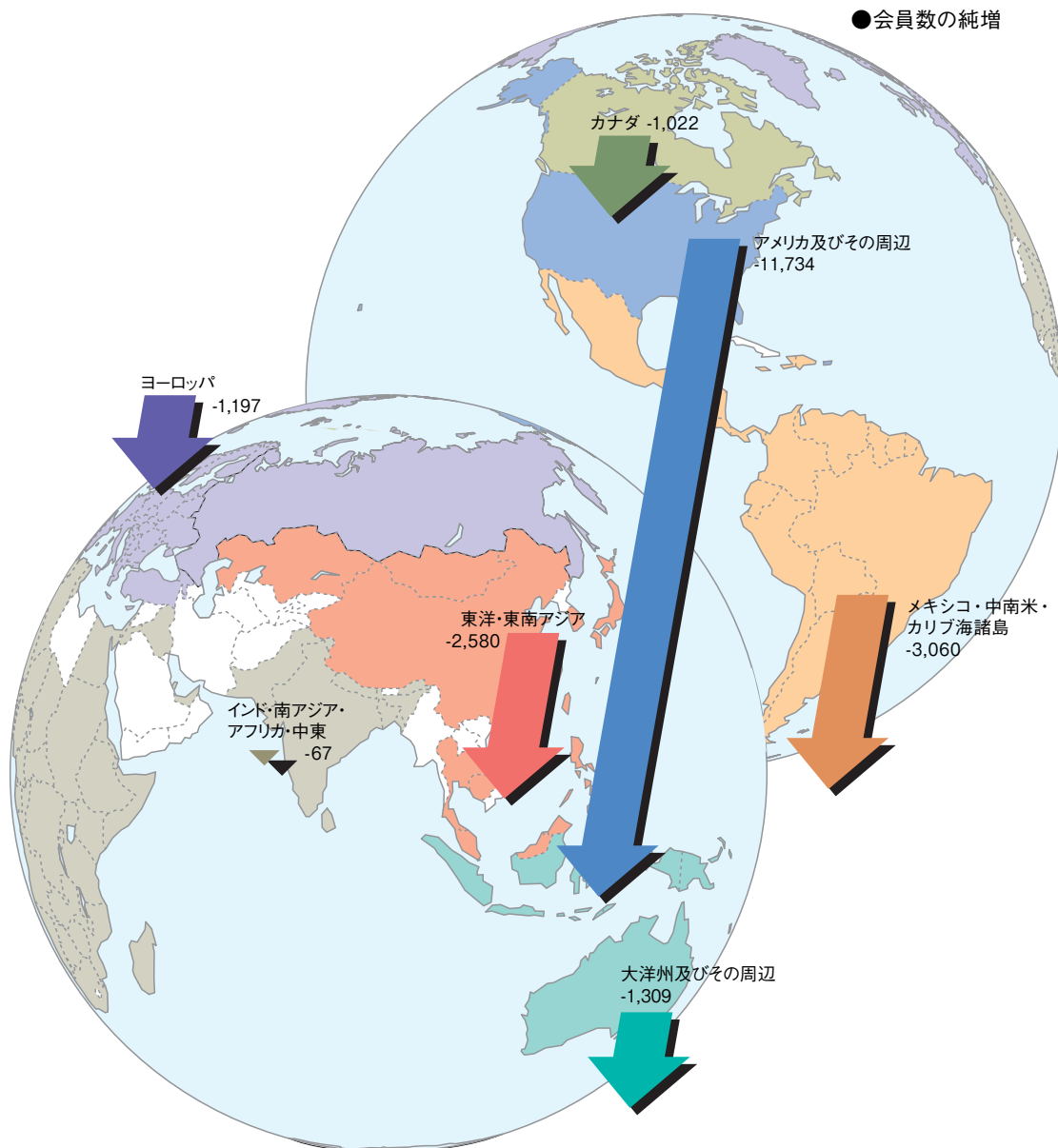
	地区番号	クラブ数	会員数	結成年
（地域合計）		4,023	93,627	
5 米領バージン諸島（米）※1	60(/51)	6	162	1966
9 ケイマン諸島	60	3	158	1972
10 ジャマイカ	60	25	760	1965
11 アンギラ	60	1	20	1979
12 英領バージン諸島（英）	60	3	83	1972
13 セントクリストファー・ネイビス	60	2	63	1971
14 アンチグア・バーブーダ	60	1	54	1968
15 モントセラト（英）	60	1	24	1985
16 ドミニカ（英）	60	2	34	1968
17 セントルシア	60	5	107	1967
18 セントビンセント（英）	60	4	73	1964
19 バルバドス	60	8	265	1961
20 グレナダ（英）	60	2	45	1965
21 トリニダード・トバゴ	60	28	729	1962
22 ガイアナ	60	20	511	1960
23 スリナム	60	13	362	1957
24 蘭領アンチル（蘭）	60/E	5	221	1946
25 グアドループ島（仏）	63	12	252	1969
26 マルチニーク島（仏）	63	9	206	1967
27 仏領ギアナ（仏）	63	8	223	1970
28 メキシコ	B	483	12,266	1931
29 グアテマラ	D	34	851	1941
30 ホンジュラス	D	30	959	1942
31 エルサルバドル	D	28	985	1942
32 ニカラグア	D	18	463	1942
33 コスタリカ	D	61	1,683	1944
34 パナマ	D	52	1,253	1935
35 アルバ（蘭）	E	1	66	1947
36 ベネズエラ	E	128	3,200	1943
37 コロンビア	F	238	4,318	1945
38 エクアドル	G	86	2,630	1946
39 ペルー	H	224	5,141	1944
40 ウルグアイ	J	130	2,688	1951
41 ブラジル	L	1,617	38,089	1952
42 パラグアイ	M	70	1,764	1952
43 アルゼンチン	O	283	5,169	1954
44 ドミニカ共和国	R	128	3,313	1964
45 ボリビア	S	58	1,190	1948
46 チリ	T	189	3,034	1948
47 ベリーズ	未	4	145	1973
48 ハイチ	未	3	68	1982

D ヨーロッパ

	地区番号	クラブ数	会員数	結成年
（地域合計）		9,497	273,283	
49 スウェーデン	101	525	13,909	1948
50 スイス	102	225	8,766	1948
51 リヒテンシュタイン	102	1	50	1953
52 フランス	103	1,246	30,441	1948
53 ノルウェー	104	508	13,197	1949
54 イングランド（英）	105	709	14,121	1949
55 ウェールズ（英）	105	46	825	1963
56 マン島（英）	105	1	33	1968

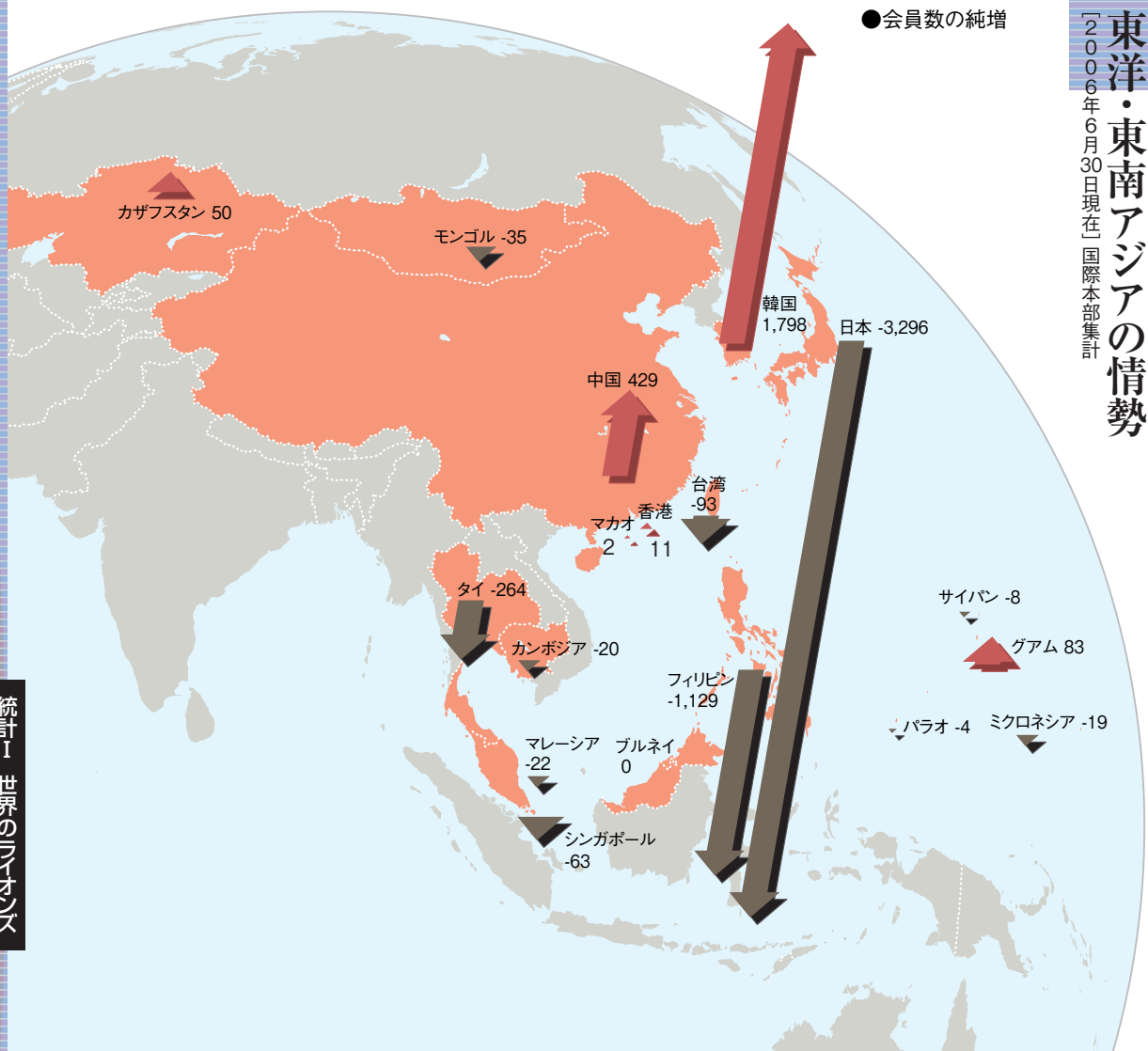
各地域の情勢

［2006年6月30日現在］国際本部集計

●会員数の純増

地域	クラブ数	結成	解散	純増減	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増減	会員数比
アメリカ及びその周辺	13,281	133	338	−205	29.5	402,368	45,043	56,777	−11,734	30.9
カナダ	1,749	10	38	−28	3.9	41,213	4,297	5,319	−1,022	3.2
メキシコ・中南米・カリブ海諸島	4,023	89	175	−86	8.9	93,627	12,652	15,712	−3,060	7.2
ヨーロッパ	9,497	140	104	36	21.1	273,283	21,596	22,793	−1,197	21.0
インド・南アジア・アフリカ・中東	7,162	532	528	4	15.9	185,471	36,841	36,908	−67	14.3
東洋・東南アジア	7,383	169	188	−19	16.4	260,900	39,906	42,486	−2,580	20.0
大洋州及びその周辺	1,950	19	48	−29	4.3	44,595	5,647	6,956	−1,309	3.4
合計	45,045	1,092	1,419	−327	100.0	1,301,457	165,982	186,951	−20,969	100.0

※年度末クラブ数・会員数には、ステータス・クオも含む

東洋・東南アジアの情勢

［2006年6月30日現在］国際本部集計

	クラブ数	結成	解散	純増減	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増減	会員数比
グアム	17	2	0	2	0.2	434	136	53	83	0.2
ミクロネシア	1	0	1	−1	0.0	13	2	21	−19	0.0
サイパン	3	0	0	0	0.0	46	4	12	−8	0.0
パラオ	1	0	0	0	0.0	16	1	5	−4	0.0
台湾	957	25	12	13	13.0	31,499	7,055	7,148	−93	12.1
フィリピン	340	16	65	−49	4.6	9,644	1,756	2,885	−1,129	3.7
香港	59	0	0	0	0.8	1,302	232	221	11	0.5
マカオ	2	0	0	0	0.0	38	5	3	2	0.0
マレーシア	233	4	1	3	3.2	6,130	803	825	−22	2.3
シンガポール	72	1	1	0	1.0	1,667	251	314	−63	0.6
ブルネイ	2	0	0	0	0.0	39	0	0	0	0.0
タイ	309	7	7	0	4.2	8,645	1,340	1,604	−264	3.3
日本	3,406	24	41	−17	46.1	119,092	10,300	13,596	−3,296	45.6
韓国	1,896	76	57	19	25.7	79,779	17,415	15,617	1,798	30.6
中国	74	11	0	11	1.0	2,297	529	100	429	0.9
モンゴル	6	1	2	−1	0.1	150	27	62	−35	0.1
カンボジア	3	0	1	−1	0.0	59	0	20	−20	0.0
カザフスタン	2	2	0	2	0.0	50	50	0	50	0.0
合計	7,383	169	188	−19	100.0	260,900	39,906	42,486	−2,580	100.0

主要10カ国の情勢

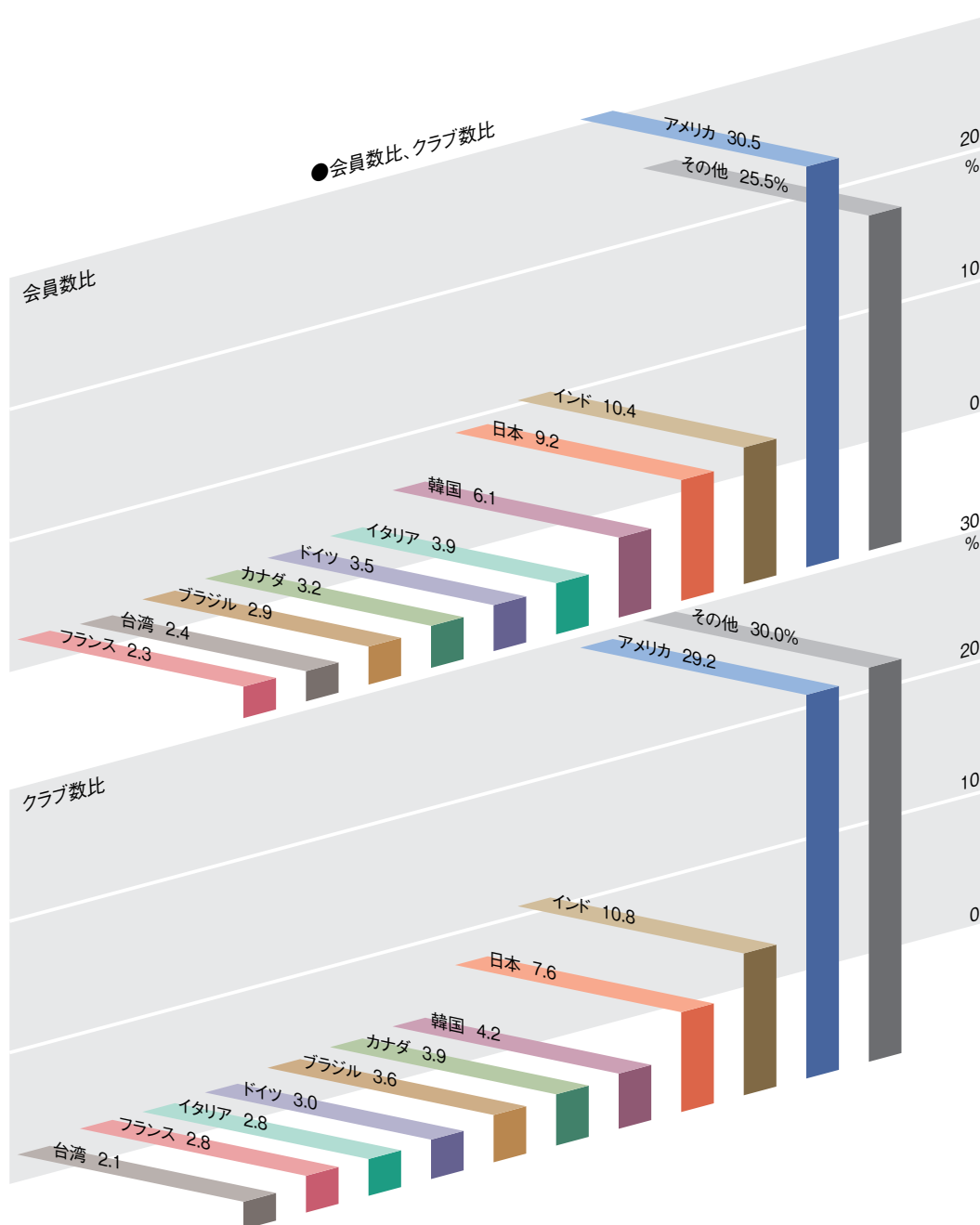
［2006年6月30日現在］国際本部集計

●会員数比、クラブ数比

会員数比

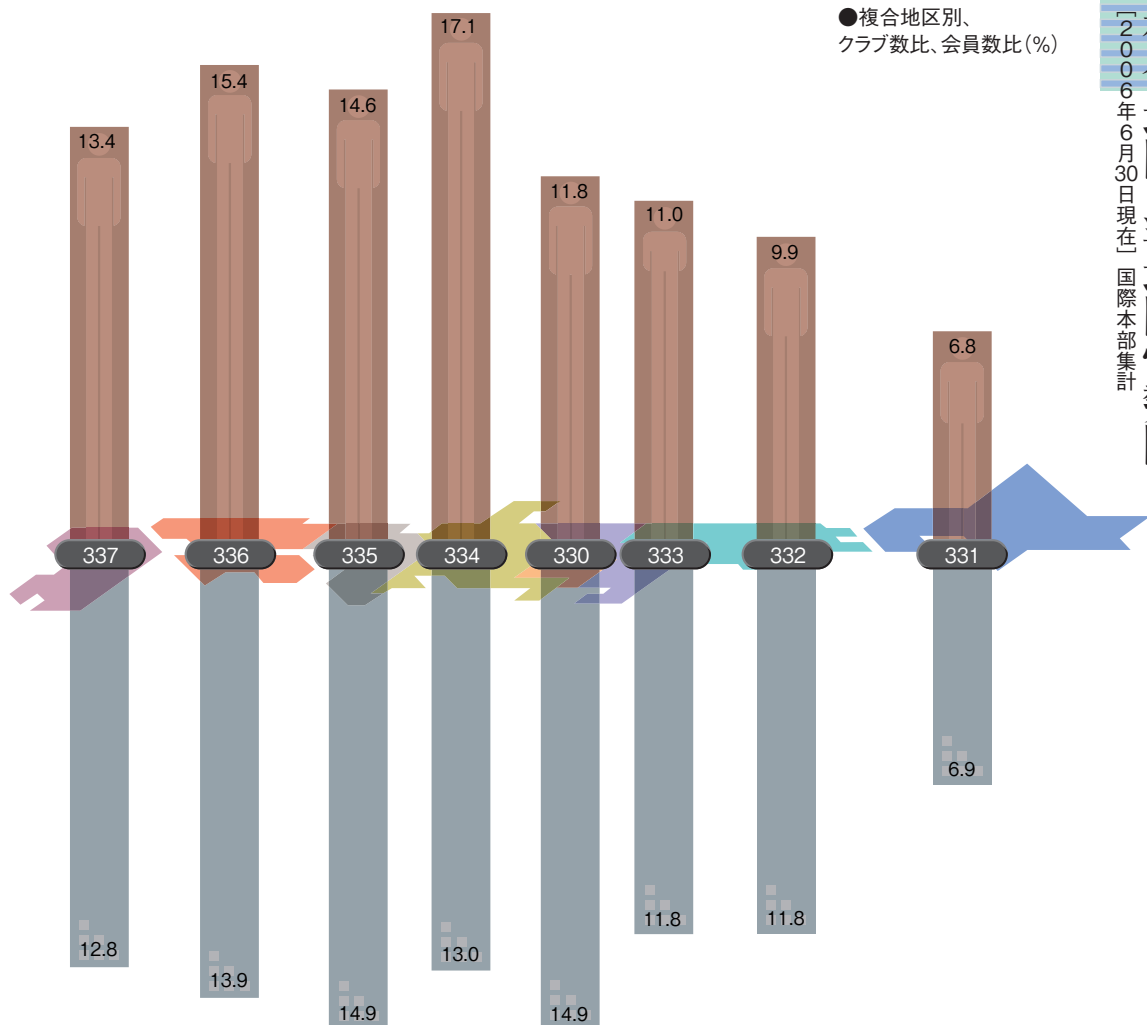
アメリカ 30.5
その他 25.5%
インド 10.4
日本 9.2
韓国 6.1
イタリア 3.9
ドイツ 3.5
カナダ 3.2
ブラジル 2.9
台湾 2.4
フランス 2.3

クラブ数比

その他 30.0%
アメリカ 29.2
インド 10.8
日本 7.6
韓国 4.2
カナダ 3.9
ブラジル 3.6
ドイツ 3.0
イタリア 2.8
フランス 2.8
台湾 2.1

	クラブ数	結成	解散	純増減	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増減	会員数比
アメリカ	13,150	132	332	−200	29.2	397,444	44,573	56,183	−11,610	30.5
インド	4,883	286	312	−26	10.8	135,827	25,372	26,253	−881	10.4
日本	3,406	24	41	−17	7.6	119,092	10,300	13,596	−3,296	9.2
韓国	1,896	76	57	19	4.2	79,779	17,415	15,617	1,798	6.1
イタリア	1,266	26	7	19	2.8	50,157	4,185	4,656	−471	3.9
ドイツ	1,358	31	0	31	3.0	45,514	2,524	1,469	1,055	3.5
カナダ	1,747	10	38	−28	3.9	41,164	4,294	5,316	−1,022	3.2
ブラジル	1,617	14	50	−36	3.6	38,089	4,524	5,548	−1,024	2.9
台湾	957	25	12	13	2.1	31,499	7,055	7,148	−93	2.4
フランス	1,246	11	12	−1	2.8	30,441	2,520	3,150	−630	2.3
その他	13,519	457	558	−101	30.0	332,451	43,220	48,015	−4,795	25.5
合計	45,045	1,092	1,419	−327	100.0	1,301,457	165,982	186,951	−20,969	100.0

※年度末クラブ数・会員数には、ステータス・クオも含む

複合地区・準地区情勢図

［2006年6月30日現在］国際本部集計

複合地区	準地区	クラブ数 2006.6	会員数 2006.6	クラブ増減	会員増減
330	330-A	207	5,498	0	−109
	330-B	193	5,689	1	−187
	330-C	107	2,900	−3	−111
小計		507	14,087	−2	−407
331	331-A	77	2,833	−1	−96
	331-B	97	3,066	−4	−204
	331-C	62	2,161	−1	−100
小計		236	8,060	−6	−400
332	332-A	69	2,116	1	−101
	332-B	57	1,884	0	−53
	332-C	83	1,834	−1	−80
	332-D	81	2,289	0	−44
	332-E	56	2,009	0	−71
	332-F	56	1,595	−1	−106
小計		402	11,727	−1	−455
333	333-A	79	2,974	−56	−23
	333-B	137	4,318	−3	−112
	333-C	129	3,586	1	−20
	333-D	56	2,188	56	45
小計		401	13,066	−2	−110
334	334-A	118	5,965	1	−114
	334-B	88	4,104	−2	−90
	334-C	84	3,544	0	−33
	334-D	98	4,357	0	−78
	334-E	55	2,372	0	−58
小計		443	20,342	−1	−373
335	335-A	110	3,043	−5	−148
	335-B	203	7,206	0	−274
	335-C	123	4,746	0	−127
	335-D	70	2,437	1	−64
小計		506	17,432	−4	−613
336	336-A	156	6,497	2	−118
	336-B	102	3,895	0	−174
	336-C	106	4,128	0	−102
	336-D	109	3,852	−1	−221
小計		473	18,372	1	−615
337	337-A	119	5,032	−1	−104
	337-B	90	2,983	−3	−144
	337-C	84	3,327	2	56
	337-D	145	4,664	−1	−131
小計		438	16,006	−3	−323
合計		3,406	119,092	−18	−3,296

2005-06年度会員数の推移

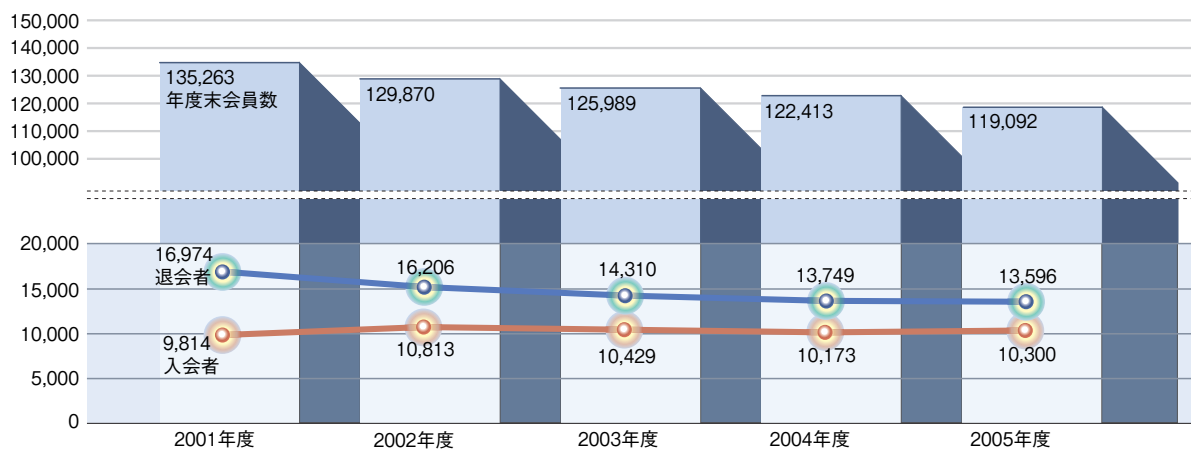
国際本部集計

会員数12万人を割り30年前の人数に

昨年度日本ライオンズは約12万3千人でスタートし、年度末は11万9千人。13年連続のマイナスとなり、12万人を割るのは1976年以来。毎年の傾向だが12月と6月に退会が多い。会費徴収が半期ごとであるためと考えられる。前期は7~11月に会員数が増加し続け、12月末も期首から約300人減に留まっていた。後期も1~4月は増加を続け、5月にわずかに下降に転ずるも期首からは純増の状態にあった。が、6月の退会者4644人が大きくひびいた形である。入会者が多いのは年度初めの7月で年間総数の5分の1に当たる約2千人を占めた。次が後期最初の1月で約千人増。準地区では333-D、337-C地区が純増となった。

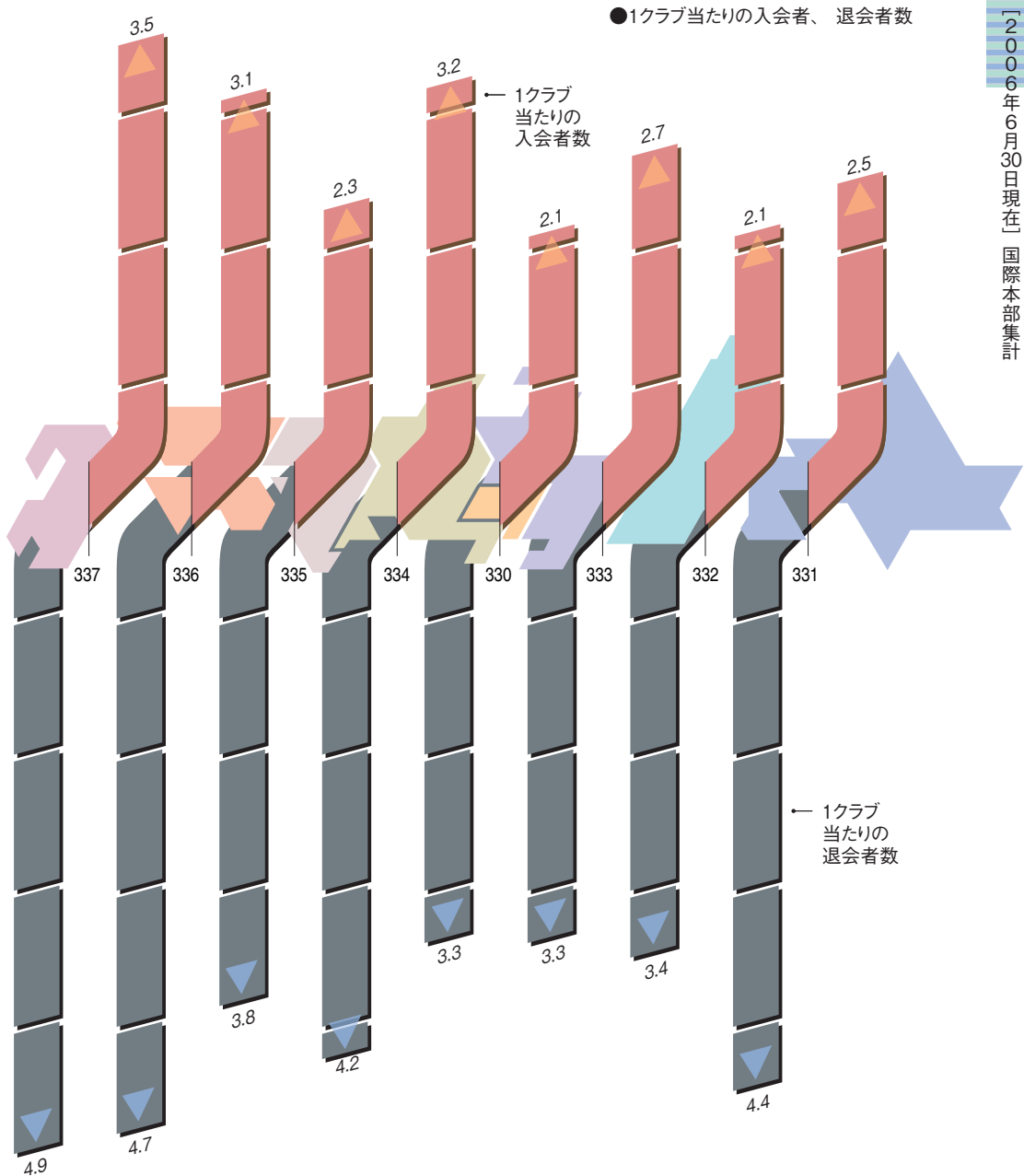
16ページの複合地区別会員動態を見ると330複合は1クラブ当たりの入会者、退会者共に最も少なく、337複合は共に最多。平均会員数最多は334複合の45・9人で、これは2000年頃の日本の平均会員数。日本ライオンズ誕生から97年までは50人台が保たれていた。

2006年1月			2006年2月			2006年3月			2006年4月			2006年5月			2006年6月			年間合計		
新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	増減
61	50	5,709	25	33	5,701	52	45	5,708	25	34	5,699	34	40	5,693	12	207	5,498	528	637	−109
58	53	5,959	21	27	5,953	29	44	5,938	17	47	5,908	18	47	5,879	41	231	5,689	524	711	−187
30	34	2,985	6	12	2,979	12	10	2,981	17	6	2,992	7	19	2,980	31	111	2,900	210	321	−111
29	17	2,919	21	13	2,927	36	30	2,933	19	25	2,927	10	17	2,920	13	100	2,833	250	346	−96
17	24	3,232	10	20	3,222	12	34	3,200	38	33	3,205	19	20	3,204	9	147	3,066	221	425	−204
10	19	2,262	8	12	2,258	16	21	2,253	16	24	2,245	12	10	2,247	7	93	2,161	169	269	−100
24	31	2,189	47	14	2,222	19	21	2,220	5	6	2,219	8	25	2,202	9	95	2,116	196	297	−101
16	10	1,942	4	7	1,939	25	6	1,958	15	9	1,964	2	9	1,957	8	81	1,884	149	202	−53
16	15	1,900	5	19	1,886	24	15	1,895	2	11	1,886	7	4	1,889	9	64	1,834	155	235	−80
22	16	2,355	15	11	2,359	18	16	2,361	14	16	2,359	8	19	2,348	10	69	2,289	199	243	−44
9	13	2,069	8	4	2,073	4	6	2,071	14	9	2,076	2	10	2,068	13	72	2,009	115	186	−71
8	16	1,657	4	4	1,657	10	10	1,657	9	9	1,657	11	19	1,649	12	66	1,595	107	213	−106
20	25	3,025	15	10	3,030	20	16	3,034	15	20	3,029	15	17	3,027	22	75	2,974	244	267	−23
33	25	4,414	81	14	4,481	57	26	4,512	38	32	4,518	12	43	4,487	24	193	4,318	412	524	−112
30	14	3,642	32	26	3,648	38	18	3,668	15	19	3,664	10	36	3,638	48	100	3,586	310	330	−20
19	11	2,204	25	3	2,226	46	16	2,256	10	8	2,258	15	24	2,249	13	74	2,188	247	202	45
30	29	6,114	13	17	6,110	37	21	6,126	53	35	6,144	33	32	6,145	30	210	5,965	420	534	−114
21	21	4,223	13	9	4,227	39	16	4,250	20	17	4,253	14	17	4,250	21	167	4,104	287	377	−90
42	18	3,633	24	17	3,640	32	14	3,658	30	20	3,668	13	21	3,660	19	135	3,544	321	354	−33
24	19	4,485	11	13	4,483	40	15	4,508	17	16	4,509	7	28	4,488	14	145	4,357	296	374	−78
12	16	2,447	26	9	2,464	17	11	2,470	14	5	2,479	9	8	2,480	5	113	2,372	174	232	−58
29	17	3,202	16	9	3,209	13	12	3,210	8	10	3,208	8	11	3,205	20	182	3,043	239	387	−148
65	53	7,447	36	42	7,441	27	42	7,426	65	17	7,474	21	20	7,475	43	312	7,206	532	806	−274
27	28	4,900	26	11	4,915	24	12	4,927	15	23	4,919	20	23	4,916	17	187	4,746	345	472	−127
6	23	2,475	21	15	2,481	51	7	2,525	12	17	2,520	17	21	2,516	2	81	2,437	196	260	−64
87	32	6,743	44	35	6,752	42	78	6,716	46	51	6,711	30	38	6,703	31	237	6,497	695	813	−118
18	27	4,038	23	19	4,042	16	37	4,021	26	26	4,021	35	16	4,040	9	154	3,895	316	490	−174
35	25	4,250	18	22	4,246	15	34	4,227	28	15	4,240	40	13	4,267	16	155	4,128	323	425	−102
39	19	4,058	12	21	4,049	25	37	4,037	13	24	4,026	29	38	4,017	11	176	3,852	289	510	−221
43	36	5,181	51	24	5,208	22	42	5,188	23	35	5,176	46	38	5,184	51	203	5,032	530	634	−104
18	27	3,138	48	18	3,168	15	39	3,144	19	23	3,140	16	42	3,114	17	148	2,983	285	429	−144
65	30	3,340	52	28	3,364	69	34	3,399	27	24	3,402	20	20	3,402	16	91	3,327	456	400	56
77	36	4,820	45	43	4,822	45	45	4,822	41	37	4,826	37	58	4,805	29	170	4,664	560	691	−131
1,040	829	122,957	806	581	123,182	947	830	123,299	726	703	123,322	585	803	123,104	632	4,644	119,092	10,300	13,596	−3,296

2001～2005年度　年度末会員数と入退会比較

地区	2005年7月			2005年8月			2005年9月			2005年10月			2005年11月			2005年12月		
	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末
330-A	102	62	5,647	49	40	5,656	55	19	5,692	54	35	5,711	21	18	5,714	38	54	5,698
330-B	125	83	5,918	85	29	5,974	45	42	5,977	26	15	5,988	22	26	5,984	37	67	5,954
330-C	42	21	3,032	14	36	3,010	15	13	3,012	17	10	3,019	7	5	3,021	12	44	2,989
331-A	51	50	2,930	10	17	2,923	16	15	2,924	17	20	2,921	19	17	2,923	9	25	2,907
331-B	67	38	3,299	13	11	3,301	13	17	3,297	13	12	3,298	5	16	3,287	5	53	3,239
331-C	42	21	2,282	14	9	2,287	9	16	2,280	13	15	2,278	6	11	2,273	16	18	2,271
332-A	31	21	2,227	15	18	2,224	10	7	2,227	9	8	2,228	10	10	2,228	9	41	2,196
332-B	33	34	1,936	8	6	1,938	13	6	1,945	11	16	1,940	7	1	1,946	7	17	1,936
332-C	35	26	1,923	20	24	1,919	19	18	1,920	8	14	1,914	6	10	1,910	4	15	1,899
332-D	52	31	2,354	15	16	2,353	12	9	2,356	10	11	2,355	7	5	2,357	16	24	2,349
332-E	26	19	2,087	13	11	2,089	8	10	2,087	4	8	2,083	6	8	2,081	8	16	2,073
332-F	14	35	1,680	20	11	1,689	3	5	1,687	3	9	1,681	10	10	1,681	3	19	1,665
333-A	67	27	3,037	20	21	3,036	17	8	3,045	7	13	3,039	12	10	3,041	14	25	3,030
333-B	66	46	4,450	17	59	4,408	28	18	4,418	20	11	4,427	19	13	4,433	17	44	4,406
333-C	56	37	3,625	15	19	3,621	19	16	3,624	20	9	3,635	13	14	3,634	14	22	3,626
333-D	18	16	2,145	45	9	2,181	17	9	2,189	14	11	2,192	6	7	2,191	19	14	2,196
334-A	88	50	6,117	22	13	6,126	22	12	6,136	35	25	6,146	24	11	6,159	33	79	6,113
334-B	53	23	4,224	23	8	4,239	20	13	4,246	22	9	4,259	16	29	4,246	25	48	4,223
334-C	52	39	3,590	22	22	3,590	15	8	3,597	28	16	3,609	21	9	3,621	23	35	3,609
334-D	78	40	4,473	38	11	4,500	11	12	4,499	28	19	4,508	15	18	4,505	13	38	4,480
334-E	30	20	2,440	24	8	2,456	9	6	2,459	12	5	2,466	4	7	2,463	12	24	2,451
335-A	60	29	3,222	15	14	3,223	24	8	3,239	16	8	3,247	14	14	3,247	16	73	3,190
335-B	89	61	7,508	28	31	7,505	36	20	7,521	34	38	7,517	50	37	7,530	38	133	7,435
335-C	86	59	4,900	28	21	4,907	17	23	4,901	35	22	4,914	26	22	4,918	24	41	4,901
335-D	38	39	2,500	7	3	2,504	15	3	2,516	15	5	2,526	6	7	2,525	6	39	2,492
336-A	106	84	6,637	73	44	6,666	64	57	6,673	68	32	6,709	42	43	6,708	62	82	6,688
336-B	52	49	4,072	32	22	4,082	30	39	4,073	20	26	4,067	39	21	4,085	16	54	4,047
336-C	59	32	4,257	33	21	4,269	19	26	4,262	25	10	4,277	18	30	4,265	17	42	4,240
336-D	52	69	4,056	25	21	4,060	24	15	4,069	26	14	4,081	22	34	4,069	11	42	4,038
337-A	112	55	5,193	55	74	5,174	34	22	5,186	38	16	5,208	23	16	5,215	32	73	5,174
337-B	64	37	3,154	26	16	3,164	12	15	3,161	21	12	3,170	17	16	3,171	12	36	3,147
337-C	93	37	3,327	22	30	3,319	15	28	3,306	29	15	3,320	24	36	3,308	24	27	3,305
337-D	89	67	4,817	66	47	4,836	32	34	4,834	32	55	4,811	36	29	4,818	31	70	4,779
合　計	2,028	1,357	123,059	912	742	123,229	698	569	123,358	730	544	123,544	573	560	123,557	623	1,434	122,746

複合地区別会員動態

［2006年6月30日現在］国際本部集計

●1クラブ当たりの入会者、退会者数

	新入・再入会	退会	純増	チャーター・メンバー	純増 ※含新クラブ	1クラブ当たり入会者	1クラブ当たり退会者	平均会員数	転籍	年度末会員数	年度末クラブ数
330複合地区	1,077	1,669	−592	120	−472	2.1	3.3	27.8	65	14,087	507
331複合地区	630	1,040	−410	0	−410	2.5	4.4	34.2	10	8,060	236
332複合地区	874	1,376	−502	31	−471	2.1	3.4	29.2	16	11,727	402
333複合地区	1,106	1,323	−217	72	−145	2.7	3.3	32.6	35	13,066	401
334複合地区	1,439	1,871	−432	36	−396	3.2	4.2	45.9	23	20,342	443
335複合地区	1,202	1,925	−723	78	−645	2.3	3.8	34.5	32	17,432	506
336複合地区	1,470	2,238	−768	103	−665	3.1	4.7	38.8	50	18,372	473
337複合地区	1,586	2,154	−568	185	−383	3.5	4.9	36.5	60	16,006	438
合計	9,384	13,596	−4,212	625	−3,587	2.7	4.0	35.0	291	119,092	3,406

※年度末クラブ数・会員数には、ステータス・クオも含む

入退会者調査

［2006年9月〜10月］ライオン誌日本語版事務所集計

入会3年未満の退会が最多

国内の全クラブを対象に実施したクラブ・アンケートの結果から、2005・06年度の入退会者の実像を探る。昨年度中に退会した会員の在籍年数は3年未満が総数の4分の1、5年以内だと約4割を占めた。退会理由には仕事を挙げる人が約半数、続いて健康上、死亡の順。

18ページには入会金と年会費の集計を掲載。入会金6万円未満が全体の9割以上を占めているが、1万円未満の入会金を徴収するクラブは極めて少ない。335複合地区の入会金9〜12万円が20％と年会費25万円以上が4割に上る結果は、他地区から突出している。また、330複合地区は入会金なしが2割近いが年会費は高額域に分布している。

アンケート結果の詳細は、ライオンズクラブの公式ウェブサイト（www.thelion-mag.jp）に掲載している。

調査時期／2006年8月25日〜9月25日
調査対象／全国 3,398クラブ
回答数／1,667クラブ
回収率／49.1％
調査機関／ライオン誌日本語版事務所

Q1. 昨年度（2005-06年度）中に入会した新会員の年齢層。

1. 20歳代 ……0.7％
2. 30歳代 ……8.1％
3. 40歳代 ……23.1％
4. 50歳代 ……36.3％
5. 60歳代 ……22.0％
6. 70歳代以上 ……9.9％

Q2. 昨年度（2005-06年度）中に退会した会員の年齢層。

1. 20歳代 ……0.3％
2. 30歳代 ……2.9％
3. 40歳代 ……10.9％
4. 50歳代 ……31.8％
5. 60歳代 ……29.9％
6. 70歳代以上 ……24.3％

Q3. 昨年度（2005-06年度）中に退会した会員の在籍年数。

1. 3年未満 ……25.9％
2. 3〜5年 ……13.4％
3. 5〜9年 ……14.2％
4. 10〜14年 ……12.0％
5. 15〜19年 ……9.0％
6. 20〜24年 ……7.7％
7. 25〜29年 ……6.4％
8. 30〜34年 ……4.9％
9. 35〜39年 ……3.5％
10. 40年以上 ……3.0％

Q4. 昨年度（2005-06年度）中に退会した会員の退会理由。

1. 死亡 ……10.0％
2. 健康上の理由 ……20.2％
3. 仕事上の理由 ……48.5％
4. 長期欠席 ……4.6％
5. 他の会員と不和 ……1.9％
6. 他クラブへ転籍 ……1.1％
7. 転勤・転居 ……8.9％
8. 引退・代替わり ……3.5％
9. 会費未払い ……1.5％

統計Ⅱ 日本のライオンズ

クラブ・アンケート

［2006年9月～10月］ライオン誌日本語版事務所集計

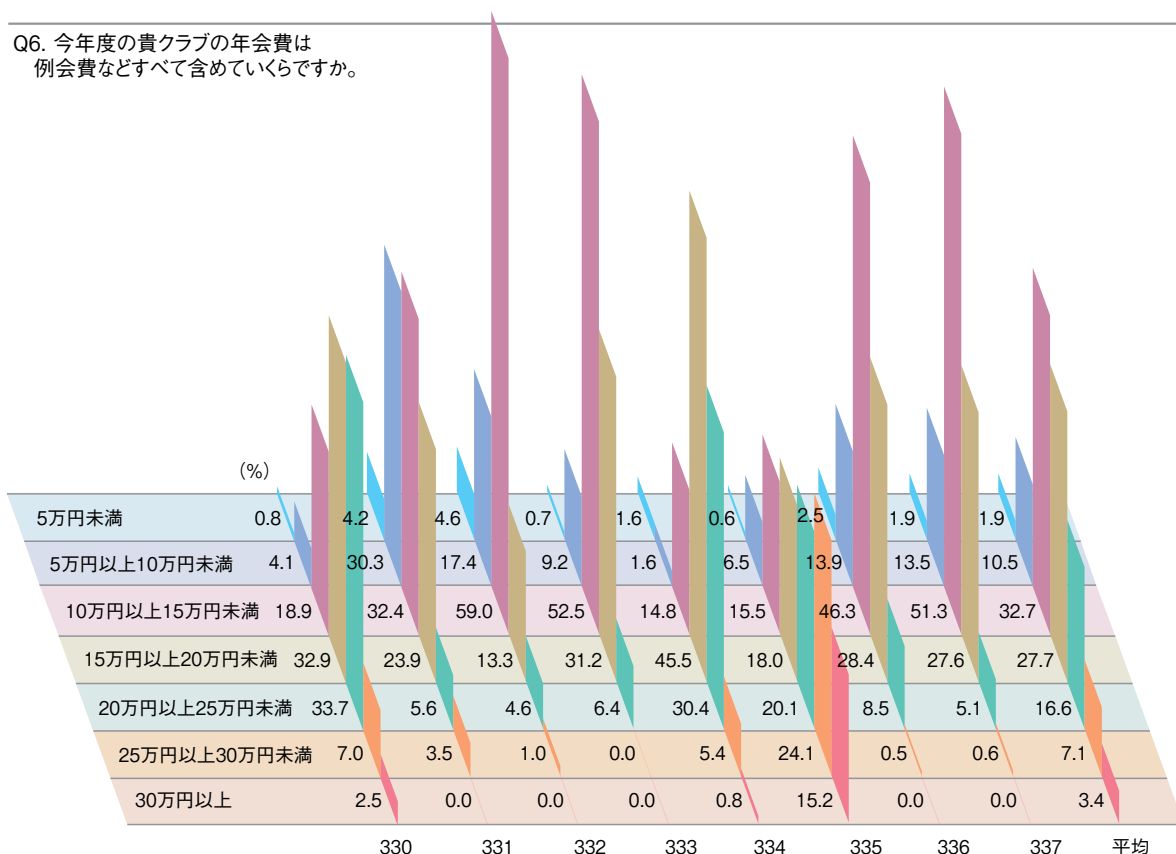
Q5. 現在、貴クラブの入会金はいくらですか。

(%)

	330	331	332	333	334	335	336	337	平均
入会金なし	18.9	11.2	15.7	14.8	6.6	5.5	3.0	7.1	10.0
1万円未満	2.0	4.9	5.6	2.1	1.6	0.6	2.5	5.1	2.7
1万円以上3万円未満	21.3	58.0	51.3	23.9	27.1	8.6	43.1	55.8	32.5
3万円以上6万円未満	51.2	25.9	25.4	51.4	52.7	59.4	48.5	30.8	45.6
6万円以上9万円未満	2.0	0.0	0.5	1.4	5.8	3.1	2.5	0.6	2.3
9万円以上12万円未満	4.1	0.0	0.5	6.3	5.4	20.0	0.0	0.6	6.0
12万円以上15万円未満	0.0	0.0	1.0	0.0	0.4	0.3	0.5	0.0	0.3
15万円以上20万円未満	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	2.5	0.0	0.0	0.6
20万円以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q6. 今年度の貴クラブの年会費は例会費などすべて含めていくらですか。

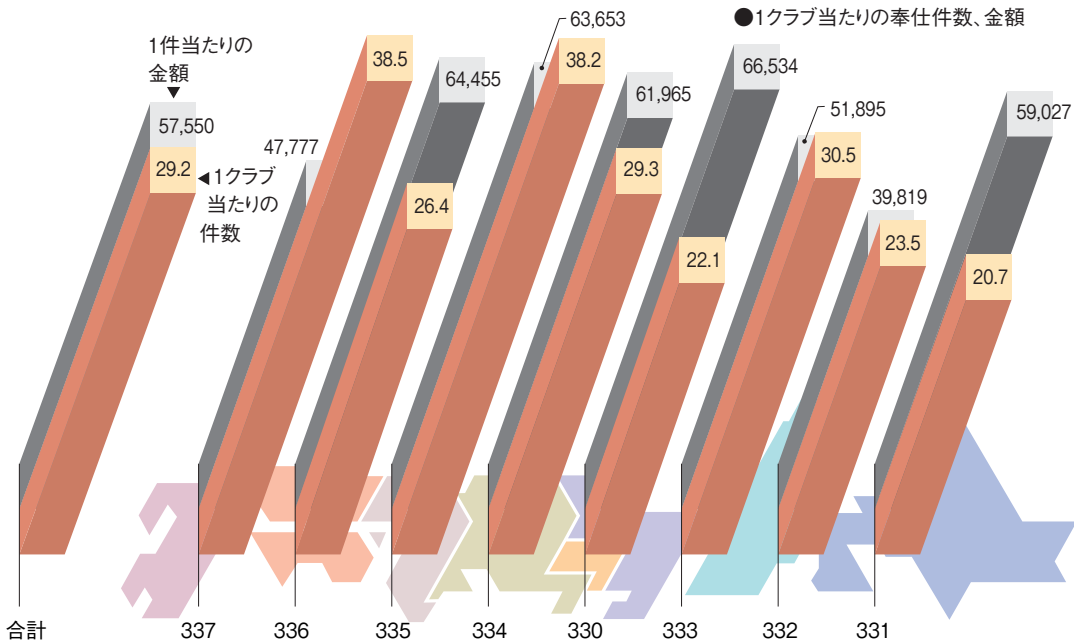
(%)

	330	331	332	333	334	335	336	337	平均
5万円未満	0.8	4.2	4.6	0.7	1.6	0.6	2.5	1.9	1.9
5万円以上10万円未満	4.1	30.3	17.4	9.2	1.6	6.5	13.9	13.5	10.5
10万円以上15万円未満	18.9	32.4	59.0	52.5	14.8	15.5	46.3	51.3	32.7
15万円以上20万円未満	32.9	23.9	13.3	31.2	45.5	18.0	28.4	27.6	27.7
20万円以上25万円未満	33.7	5.6	4.6	6.4	30.4	20.1	8.5	5.1	16.6
25万円以上30万円未満	7.0	3.5	1.0	0.0	5.4	24.1	0.5	0.6	7.1
30万円以上	2.5	0.0	0.0	0.0	0.8	15.2	0.0	0.0	3.4

アクティビティ地区別構成比

【2005・06年度集計】ライオン誌日本語版事務所集計

アクティビティ増加傾向 LCIFは倍増

ライオン誌日本語版事務所が各クラブからの報告書を元にアクティビティを集計した。2005・06年度は前年度に比べ金額、件数共にわずかに増加した。CSFⅡスタートの年とあり、LCIFの金額が98・5％増加。青少年関係が金額の首位を降りるのは、この項目名での集計がスタートした96年以来初めて。LCIFに吸い取られる形で昨年より減少した項目が多い中、献眼と骨髄バンクでは件数、金額、登録者、提供者すべてが増加した。献腎では登録者が約千人増えた。

21ページ以降のグラフを見ると、献血の335複合地区や献腎の334複合地区など、その事業に特に力を注いでいる地区があることがよく分かる。

複合地区	準地区	件数	1クラブ当たり件数	金額	1件当たり金額
330	330-A	3,695	17.9	379,856,538	102,803
	330-B	5,312	27.5	240,531,572	45,281
	330-C	2,219	20.7	126,522,735	57,018
小計		11,226	22.1	746,910,845	66,534
331	331-A	1,923	25.0	135,605,110	70,517
	331-B	1,570	16.2	78,666,867	50,106
	331-C	1,400	22.6	74,548,450	53,249
小計		4,893	20.7	288,820,427	59,027
332	332-A	1,281	18.6	52,561,404	41,032
	332-B	1,576	27.6	70,255,500	44,578
	332-C	1,874	22.6	61,245,386	32,682
	332-D	2,722	33.6	102,452,473	37,639
	332-E	1,276	22.8	56,933,816	44,619
	332-F	705	12.6	32,205,065	45,681
小計		9,434	23.5	375,653,644	39,819
333	333-A	2,092	26.5	116,413,138	55,647
	333-B	3,817	27.9	211,660,806	55,452
	333-C	4,336	33.6	220,285,366	50,804
	333-D	1,980	35.4	86,061,926	43,466
小計		12,225	30.5	634,421,236	51,895
334	334-A	3,317	28.1	473,405,328	142,721
	334-B	2,639	30.0	252,278,482	95,596
	334-C	2,270	27.0	197,739,479	20,885
	334-D	2,637	26.9	199,860,187	75,791
	334-E	2,131	38.7	127,905,254	60,021
小計		12,994	29.3	1,251,188,730	61,965
335	335-A	4,222	38.4	224,731,126	53,229
	335-B	6,911	34.0	528,743,553	76,508
	335-C	6,119	49.7	364,806,694	59,619
	335-D	2,061	29.4	111,039,368	53,876
小計		19,313	38.2	1,229,320,741	63,653
336	336-A	4,242	27.2	251,551,312	59,300
	336-B	2,174	21.3	171,705,572	78,981
	336-C	3,701	34.9	233,904,318	63,200
	336-D	2,371	21.8	147,758,831	62,319
小計		12,488	26.4	804,920,033	64,455
337	337-A	6,579	55.3	357,713,488	54,372
	337-B	3,416	38.0	137,975,505	40,391
	337-C	2,946	35.1	127,471,408	43,269
	337-D	3,934	27.1	183,076,023	46,537
小計		16,875	38.5	806,236,424	47,777
合計		99,448	29.2	6,137,472,080	57,550

統計Ⅲ アクティビティ

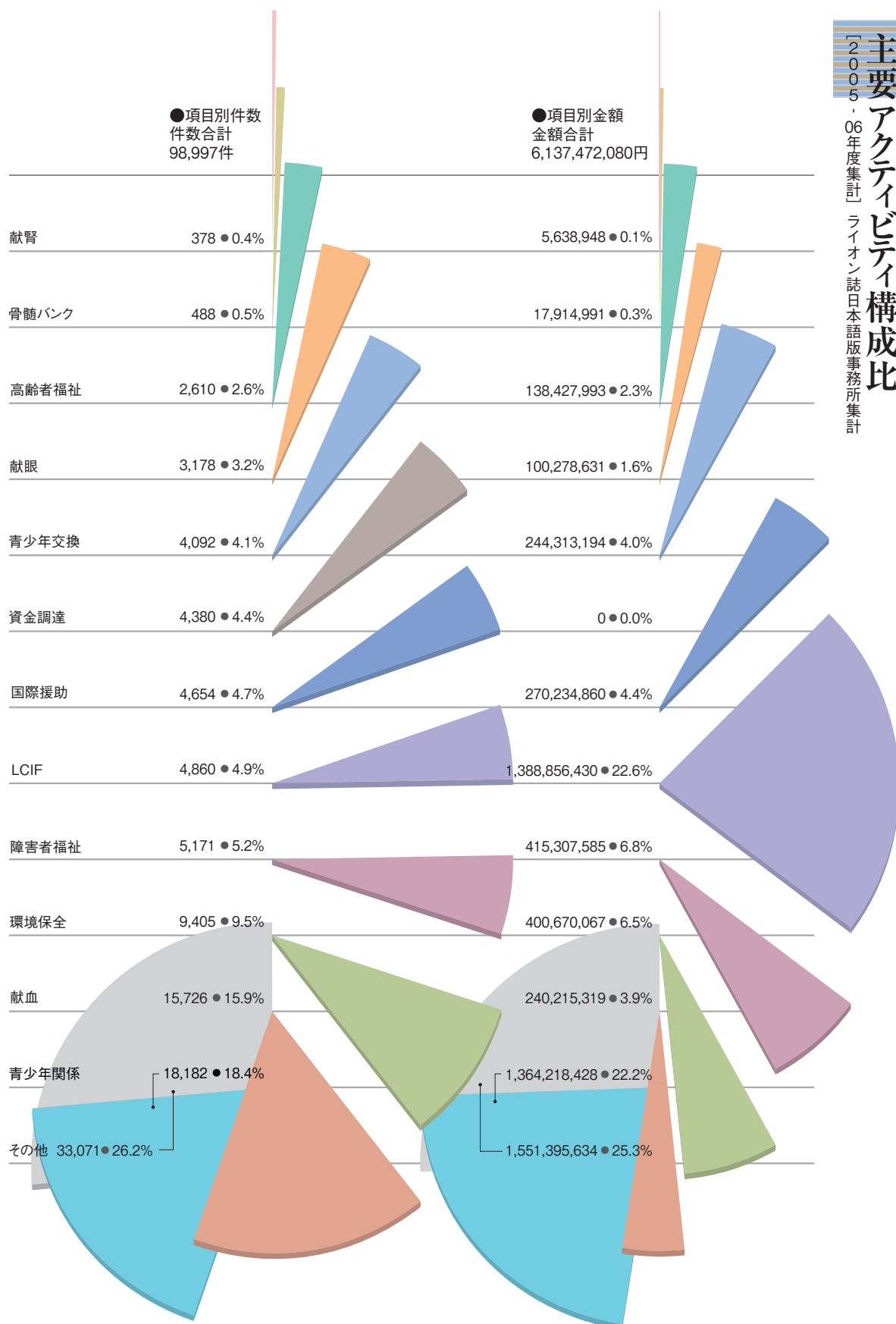
主要アクティビティ構成比

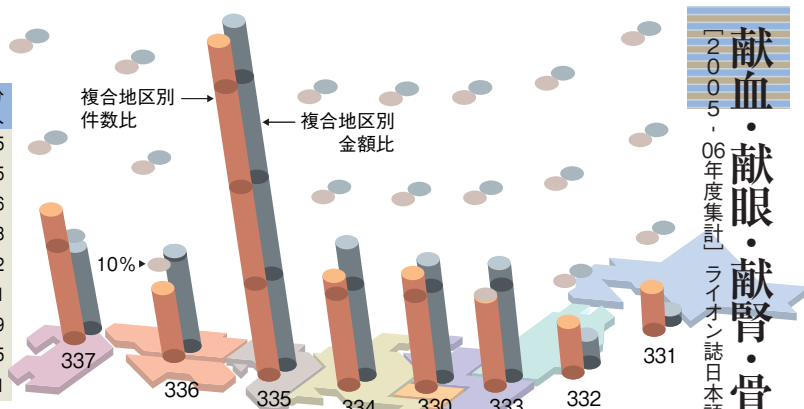
［2005・06年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

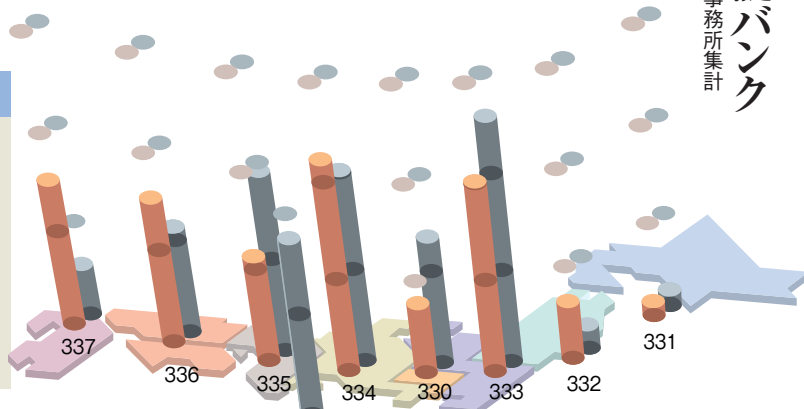
	●項目別件数 件数合計 98,997件	●項目別金額 金額合計 6,137,472,080円
献腎	378 ● 0.4%	5,638,948 ● 0.1%
骨髄バンク	488 ● 0.5%	17,914,991 ● 0.3%
高齢者福祉	2,610 ● 2.6%	138,427,993 ● 2.3%
献眼	3,178 ● 3.2%	100,278,631 ● 1.6%
青少年交換	4,092 ● 4.1%	244,313,194 ● 4.0%
資金調達	4,380 ● 4.4%	0 ● 0.0%
国際援助	4,654 ● 4.7%	270,234,860 ● 4.4%
LCIF	4,860 ● 4.9%	1,388,856,430 ● 22.6%
障害者福祉	5,171 ● 5.2%	415,307,585 ● 6.8%
環境保全	9,405 ● 9.5%	400,670,067 ● 6.5%
献血	15,726 ● 15.9%	240,215,319 ● 3.9%
青少年関係	18,182 ● 18.4%	1,364,218,428 ● 22.2%
その他	33,071 ● 26.2%	1,551,395,634 ● 25.3%

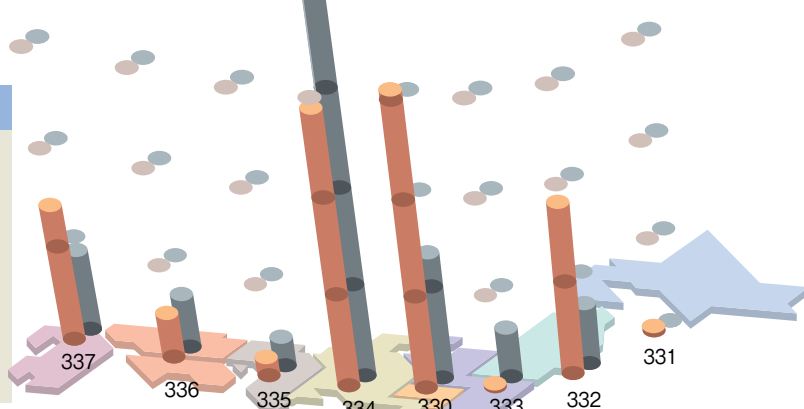
献血・献眼・献腎・骨髄バンク

［2005-06年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

統計Ⅲ アクティビティ

献血

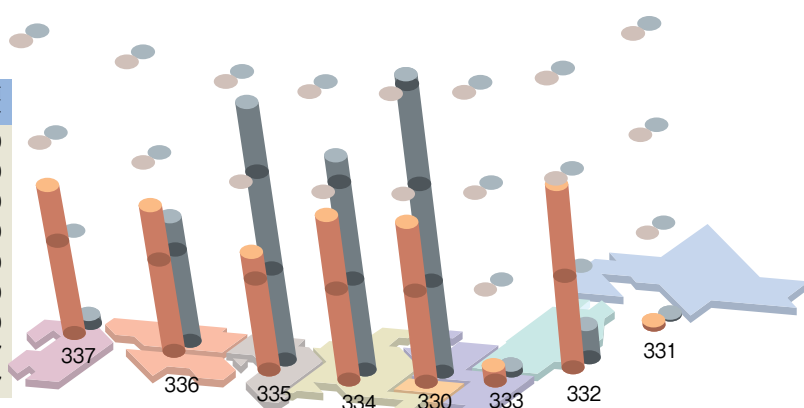
複合地区	件数	金額	200cc献血／人	400cc献血／人	成分献血／人
330	1,928	30,609,436	17,818	55,790	7,175
331	757	3,481,999	7,590	19,825	1,895
332	931	7,932,557	8,384	15,171	1,486
333	1,558	30,016,870	21,490	41,989	5,608
334	1,852	34,883,187	21,908	53,798	9,092
335	5,339	87,138,094	56,733	157,908	58,581
336	1,225	24,945,064	11,663	37,407	6,059
337	2,136	21,208,112	8,071	66,671	4,855
合計	15,726	240,215,319	153,657	448,559	94,751

献眼

複合地区	件数	金額	アイバンク登録者	角膜提供者
330	254	14,117,420	1,555	20
331	43	1,456,279	622	3
332	189	2,436,947	69	1
333	643	25,881,007	3,735	40
334	696	20,319,551	4,172	162
335	365	19,264,891	36	3
336	494	11,641,128	1,471	13
337	494	5,161,408	3,007	49
合計	3,178	100,278,631	14,667	291

献腎

複合地区	件数	金額	腎バンク登録者	腎臓提供者
330	118	765,501	752	1
331	2	0	0	0
332	69	355,950	13	0
333	1	300,000	0	0
334	110	3,265,531	1,023	0
335	7	164,750	15	0
336	17	303,930	549	0
337	54	483,286	1,480	0
合計	378	5,638,948	3,832	1

骨髄バンク

複合地区	件数	金額	骨髄バンク登録者	骨髄提供者
330	84	5,554,513	961	10
331	1	20,000	0	0
332	95	641,900	24	0
333	9	140,500	36	0
334	87	4,038,693	375	0
335	61	4,845,597	452	0
336	76	2,440,685	100	0
337	75	233,103	285	7
合計	488	17,914,991	2,233	17

青少年関係・高齢者福祉・障害者福祉・環境保全

［2005－06年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

青少年関係

複合地区	件数	金額
330	1,640	149,911,058
331	991	77,985,286
332	1,578	95,426,492
333	2,331	148,411,147
334	2,413	256,105,056
335	3,426	282,935,954
336	2,209	186,526,246
337	3,594	166,917,189
合計	18,182	1,364,218,428

高齢者福祉

複合地区	件数	金額
330	340	34,644,749
331	192	8,203,177
332	342	10,775,269
333	438	13,197,637
334	293	21,326,138
335	367	17,993,194
336	317	17,687,700
337	321	14,600,129
合計	2,610	138,427,993

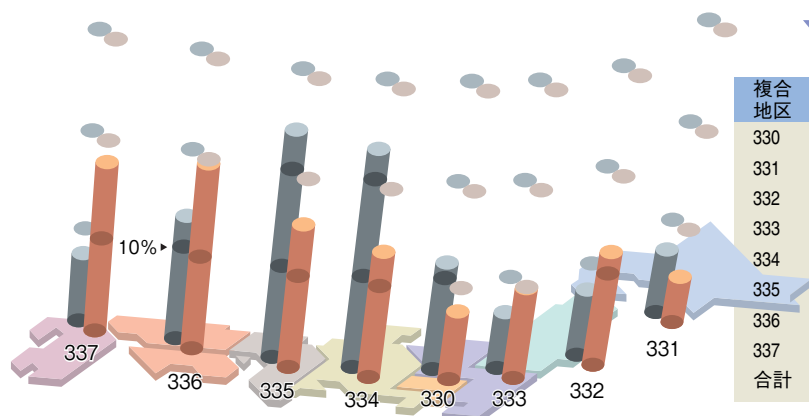
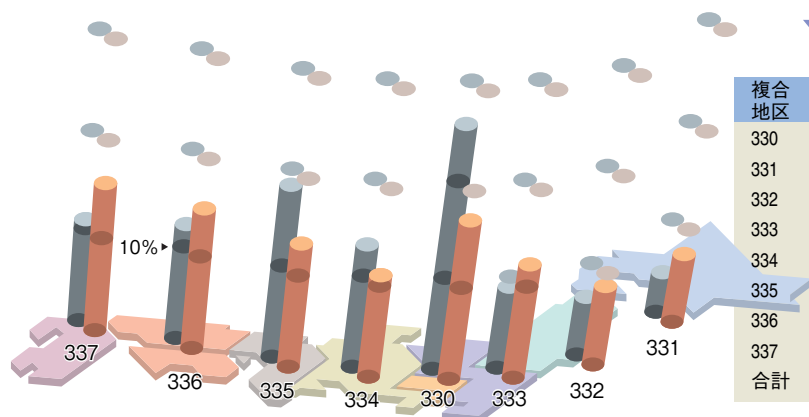
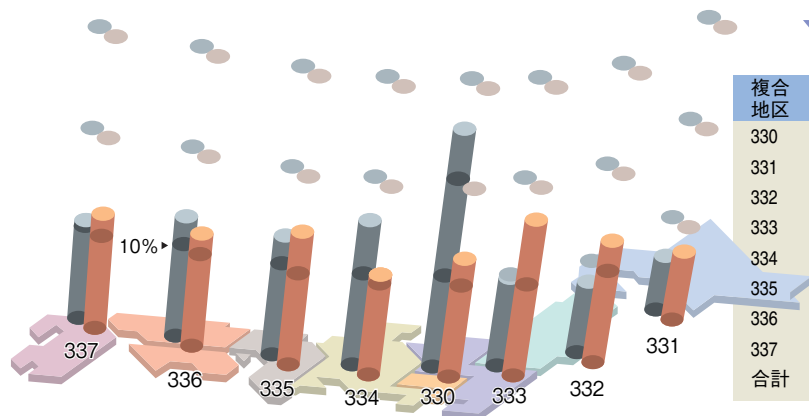
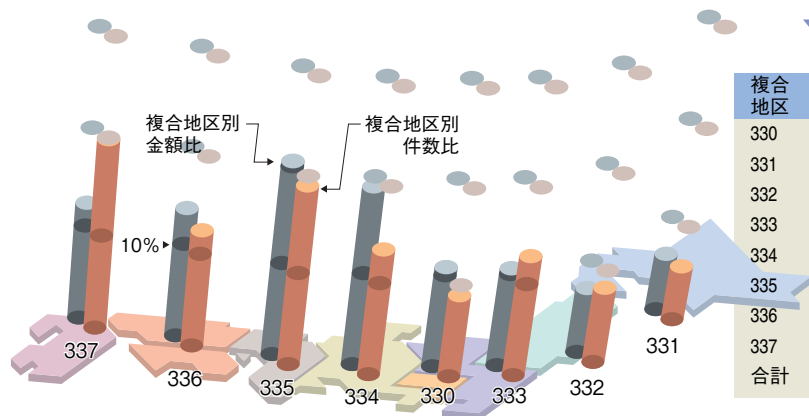
障害者福祉

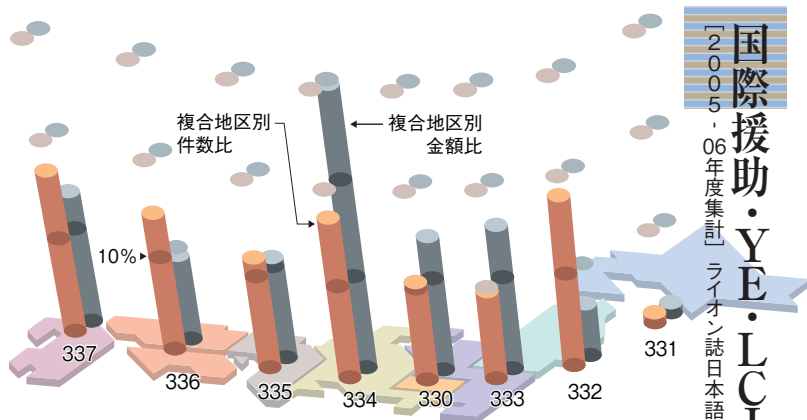
複合地区	件数	金額
330	882	107,143,068
331	367	16,277,636
332	448	25,818,418
333	622	35,281,601
334	587	56,871,245
335	698	75,432,438
336	756	52,465,404
337	811	46,017,775
合計	5,171	415,307,585

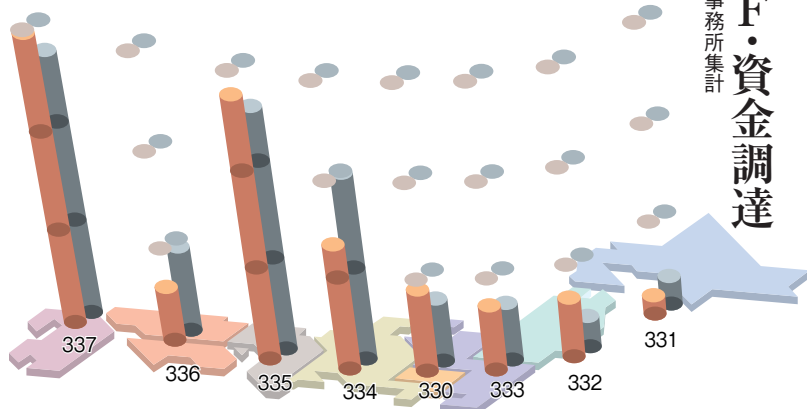
環境保全

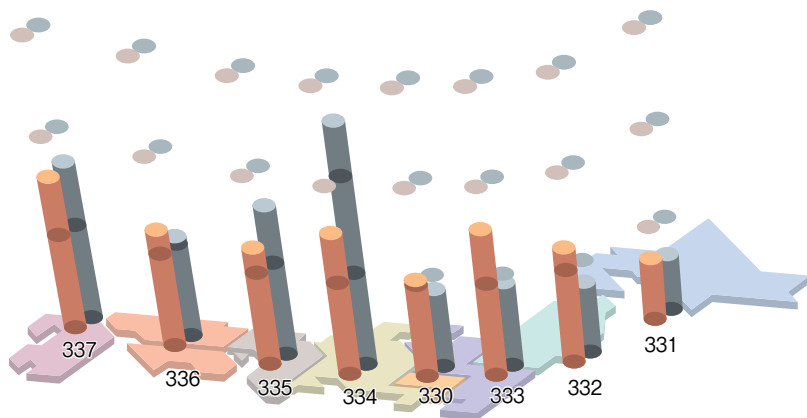
複合地区	件数	金額
330	708	47,820,374
331	444	28,163,192
332	1,130	29,460,309
333	917	23,815,713
334	1,284	92,851,689
335	1,431	95,994,023
336	1,816	52,868,053
337	1,675	29,696,714
合計	9,405	400,670,067

国際援助・YE・LCIF・資金調達

［2005－06年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

国際援助

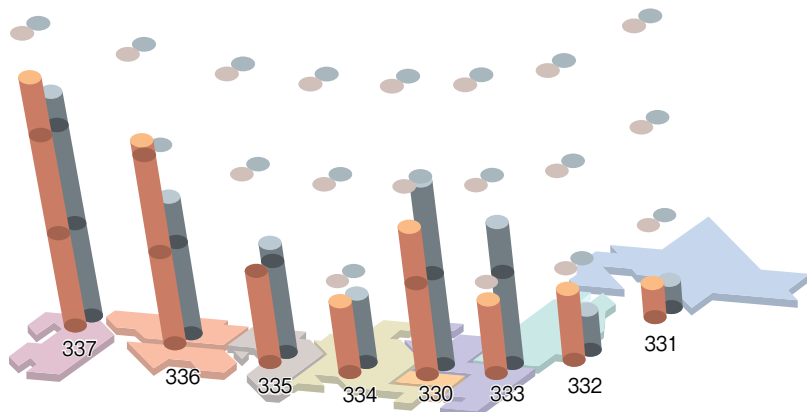
複合地区	件数	金額
330	500	39,466,640
331	67	3,735,868
332	861	14,768,016
333	443	41,981,802
334	782	79,172,124
335	549	29,018,707
336	665	24,569,466
337	787	37,522,237
合計	4,654	270,234,860

青少年交換

複合地区	件数	金額
330	368	16,703,092
331	79	6,406,790
332	248	8,758,210
333	287	14,716,565
334	550	48,263,829
335	1,125	62,252,872
336	225	21,183,674
337	1,210	66,028,162
合計	4,092	244,313,194

LCIF

複合地区	件数	金額
330	516	117,957,587
331	312	80,924,174
332	583	107,969,949
333	747	122,767,199
334	730	350,005,514
335	598	223,516,485
336	592	153,936,066
337	782	231,779,456
合計	4,860	1,388,856,430

資金調達

複合地区	件数	金額
330	692	109,418,256
331	145	14,970,701
332	338	24,886,470
333	362	85,567,507
334	349	43,154,272
335	436	66,286,505
336	944	82,150,937
337	1,114	129,777,379
合計	4,380	556,212,027

■国際理事
山田實紘
（岐阜県・美濃加茂）

4年間に及ぶライオンズの慎重な行動が、中国進出を成功させた

ジミー・ロス国際会長の率いる第2回目の国際理事会が、北京で開催されました。なぜ北京で開催されたかご存じでしょうか。2002年から、ゆっくりかつ着実に中国へ進出しているライオンズの行動には、非常に慎重なところが見られます。第一に、中国は共産主義国家であり、現在もどこまで自由開放されているのかが明確ではなく、集会の届出義務があり、中国通貨・元の国外持ち出し禁止の国です。このような状況下で本当のライオニズムがどこまで浸透するのか、疑問難問の中での理事会開催だったと思われるかもしれません。が、今回は、機が熟したからこそ、北京において開催されたと考えた方が正しいと思います。

中国には約80クラブ、2600人の会員がいて、ライオンズの活動も活発に行われています。特に若いメンバー、女性メンバーが中心となって、レオをうまく動かした奉仕活動が盛んになっています。

国際協会がこの4年間、一歩一歩石橋をたたきながら確実に中国に進出してきたのは、過去に苦い経験があるからです。1989年、ベルリンの壁が崩れ、ソ連崩壊と同時にライオンズは東側へ進出しました。しかし、足固めをしないままロシアへの進出を急ぎすぎたために、今では東欧進出の足並みが揃わず、迷走している状態です。同じ失敗を繰り返さないためにも、中国への進出は着実・確実な準備をし、今回の理事会開催につながったのです。

これまでジョセフ・ロブレスキー元国際会長が中心となり、香港のウィン・クン・タム元国際理事を通じて進出窓口を一カ所に絞ってきたことが成功の一因だと思われます。日本も中国へのエクステンションを行っていますが、すべてタム元国際理事が取り仕切ることに不満の声も耳にします。しかし、それも前述の理由によるものです。

ロータリークラブが中国にシャットアウトされている理由は、功を焦ってそうした配慮が欠けていたことによるのではないでしょうか。それを考えれば、ライオンズの中国進出の戦略は正しかったと思うのです。

ここまで来ますと、中国の人口や、華僑の人々が世界各地でライオンズとして活躍している事実から見て、今後5年の間には、中国の会員数は爆発的に多くなるものと確信します。

これは国際協会としては嬉しいことでありますが、まずは会費を中国からアメリカの国際本部にどう移すかといった問題も抱えています。初めのうちは中国内での循環資金として集めることは可能ですが、その次のステップを考えていく課題が残されている気がします。

しかし、いずれにせよ中国はOSEAL地域に所属しており、現在リーダーシップを取っている日本と将来的には良きライバルになることは間違いありません。ここ数年、韓国が日本に追いつけ追い越せとがんばっていますが、第3のライバルが台頭してきたことになります。日本ライオンズも、力を入れて質の高い会員増強に励まねばなりません。

何とかOSEALの雄、世界の雄である日本ライオンズを、より強化していきたいと願っております。

NEWS CASSETTE

ライオンズ ニュースカセット

メータ理事長を迎えてLCIFセミナー開催

10月11日、アショク・メータLCIF理事長を講師に、330・331・332・333複合地区(東日本)LCIFセミナーが横浜市で開催され、会場の横浜ロイヤルパークホテルに280人の会員が集まった。メータ理事長は講演の中でLCIFの人道主義奉仕の歴史を振り返り、その支援活動は日本の協力なしに成し遂げられなかったと貢献を高く評価。その上で、世界の失明防止を目標に展開中の視力ファーストⅡキャンペーン(CSFⅡ)に更なる協力を求めた。失明防止の分野では、小児糖尿病による失明、未熟児網膜症(保育器で多量の酸素補給による)の二つの重要な問題があり、そうした子どもたちを救うためにもCSFⅡの目標達成に尽力してほしいと訴えた。334・335・336・337複合地区(西日本)の同セミナーは13日、名古屋市の名古屋マリオットアソシアホテルで開催され、264人が出席した。

奉仕活動を支援する二つの新プログラム

国際協会はライオンズの奉仕活動を支援するために、新たに二つのプログラムを設けた。

●ライオンズ緊急管理＝災害時の被災者支援活動に備え、被害程度に応じた3段階のレベルで、それぞれ活動計画を立案するよう各クラブに求めている。

●ライオンズ事業リスト＝クラブのプロジェクトや資金調達事業のリストを公開し、事業のアイデアを共有する。国際協会公式ウェブサイトにライオンズの事業に必要な情報のオンライン検索システム「ライオンズ人道奉仕プログラム」を新設し、クラブが必要とする支援や物資のリクエストや、他クラブに提供したい支援の情報をデータベース化する(＊英語のみで運用)。

詳細は公式ウェブサイト(www.lionsclubs.org)の専用ページを参照されたい(「その他のプログラム」→「国際協調プログラム」内)。

複合地区向けPR交付金プログラム

10月に開催された北京国際理事会で、複合地区を対象としたPR交付金プログラムが承認された。地域の問題や要望に応える活動で、

より多くの取材メディアを獲得出来る事業を資金面で支援するもので、複合地区レベルで実施される事業とPR活動に対して2万ドルを上限に交付される。交付を希望する複合地区は所定の申請書を提出する。申請書は予算65万ドルの範囲内で受け付け順に審査され、交付の可否は国際理事会PR委員会で決定される。

CSFⅡの資金獲得が目標額の3分の1を突破

2005年7月にスタートしたCSFⅡで集まった資金が10月5日現在で5千万ドルを超え、最低目標額1億5千万ドルの3分の1に達した。CSFⅡは08年6月末までの3年間で視力ファーストの事業資金1億5千万ドルを獲得するキャンペーン。この資金は約1億ドルが予防可能な失明の抑制と撲滅に、残りの約5千万ドルは新たな失明の脅威と闘うために使用される。更に挑戦的目標額の2億ドルに達した場合は、5千万ドルが調査やリハビリ、援助活動を通して「視力をすべての人に」提供するために役立てられる。

CSFⅡでは10月11日を第2回世界報告日として、世界のナショナル・コーディネーター47人が国際本部のテーサップ・リーCSFⅡ国際委員長に各エリアの資金獲得目標額を電話報告した。その結果、06年度内に世界で6400万ドルの資金獲得が計画されていることが明らかになった。

335・C地区のライオンズクエスト推進への取り組み

10月14、15日、335・C地区（八嶌隆地区ガバナー／滋賀県、京都府、奈良県）主催のライオンズクエスト・プログラムのワークショップが京都府宇治市の京都翔英高等学校体育館で開催され、教育関係者34人と、今期中の導入を目指す335・A地区（兵庫県）のライオンズクエスト委員2人が参加した。

八嶌ガバナーはライオンズクエスト導入を最重点目標に据え、前年度から調査と準備を進めてきた。地元奈良県では知事や教育長の協力を得、県内のワークショップに関しては中学校長会から受講案内を発信してもらえるようになった。そのため年度当初から積極的な活動を展開し、7月24、25日に奈良県での第1回ワークショップを開催。更にLCIF四大交付金を申請し、10月のライオンズクエスト諮問委員会（北京）で承認された。年内に更に滋賀、京都、奈良で各1回のワークショップを計画している。

国際理事会で承認された日本へのLCIF交付金

北京国際理事会で承認された日本への交付金は10件18万4499ドルだった。内訳は以下の通り。

一般援助交付金▼332・A地区＝病院用視力検査設備の購入3万ドル▼333・B地区＝カンボジアに学校建設1万8569ドル▼333・C地区＝カンボジアに中等学校建設2万1000ドル▼

334・D地区＝障害者用車輌の購入1万9130ドル▼337・C地区＝カンボジアの小学校増築1万6800ドル▼332・E地区＝緊急設備の購入9千ドル▼334・A地区＝ベトナムの病院に手術設備を購入2万ドル

国際援助交付金▼334・E地区＝第32回フィリピン医療奉仕3万ドル▼334・E地区＝フィリピンでの歯科医療奉仕1万ドル▼334・E地区＝フィリピンでのマングローブ植林1万ドル

ニューヨーク国連ビルでの国連ライオンズ・デー

第29回国連ライオンズ・デーが2007年3月9日、ニューヨークの国連本部で開催される。ライオンズと国連の長年にわたる協力関係を祝って開かれるもので、国連代表者によるスピーチ、国際平和ポスター・コンテストの授賞式や国連大使との昼食会、国連ビル見学などのプログラムが組まれる。参加希望者は所定の用紙（公式ウェブサイト「その他のプログラム」→「国際協調」→「国連ライオンズ・デー」からダウンロード）で登録を行う。登録料は105ドル（昼食なしは60ドル）、登録締切は2月9日。

SightFirst Update

アフリカ・ニジェールに初の視力ファースト交付金

視力ファースト交付金を受ける国の数はどんどん増えており、LCIFは最近もう一つの国をリストに加えた。ニジェールへの2件の交付金承認により、視力ファーストは世界90カ国に対してこれを拠出したことになる。

目の検査を受ける少年（ニジェール）

視力ファースト諮問委員会は8月に25件、合計290万ドルの交付金を承認した。視力ファーストが1990年に交付金拠出を始めてからの累計額は1億9300万ドル以上となる。

西アフリカのニジェールは海のない内陸国で、面積は日本の約3倍、人口は1250万人。世界で最も貧しい国の一つで、国連開発基金による人的開発指標では最下位にある。

世界でも失明率の最も高い国の一つであるニジェールでは、失明の85％が適切な処置によって回避あるいは矯正可能と推定されている。広い国土と白内障とトラコーマが主原因の高い失明率にもかかわらず、国内には眼科医8人と眼科看護士27人しかいない。世界保健機関（WHO）ではこの国における目のケアのニーズを満たすためには、更に77人の眼科専門看護士を訓練する必要があると推定している。

ニジェールにおける眼科専門看護士の不足に対処するために、首都ニアメー市のラモルド国立病院での3年間の訓練計画に12万7551ドルの視力ファースト交付金が承認された。カリキュラムは「失明防止協会」の医師たちがWHOの協力を得て立案している。視力ファーストの資金は教材、病室の適切な教室への改造、卒業する看護士への基礎的医療機器の提供などに使われる。

この学習プログラムを卒業した看護士は農村地帯の病院あるいは保健センターで働くことが予定されている。

8月の諮問委員会で承認された交付金にはこの他に、ブラジル、インド、ネパール、ナイジェリア、パキスタン、スリランカの各国における合計11万2400件の白内障手術キャンペーン、エチオピア、インドでの眼科医療、看護士のトレーニング、コンゴ共和国での河川失明症プロジェクト、タンザニアの総合眼科ケア・プログラム、マリで開催される2006年世界視力デーなどがある。

最新の視力ファースト交付金リストは国際協会公式ウェブサイト（www.lions clubs.org）に掲載（「LCIF」→「交付金とプログラム」→「視力ファースト交付金」→「最近の視力ファースト交付金リスト」）。

ライオンズ環境写真コンテスト

「ライオンズ環境写真コンテスト」は、クラブ、地区、複合地区レベルのコンテストを経て選考された作品を国際大会で展示し、大会登録者の投票によって、グランプリとカテゴリー別の入賞作品を表彰している。今年度もシカゴ大会に向けて、動物の生態、景観、植物、気象現象、年度特別テーマ「地球にやさしく」の各カテゴリーで作品を募集する。地区レベルの締切は1月1日。コンテストに関する情報や昨年度の受賞作品（写真はボストン大会でのグランプリ）は、公式ウェブサイトを参照（「その他のプログラム」→「文化・環境」→「環境写真コンテスト」）。

新結成・解散クラブ

■新結成クラブ

新潟エアポート▼結成順位／36344▼9月23日結成▼井村恵一会長▼事務局／新潟市松浜町3710　新潟空港ビル3階（〒950-0001）TEL 025-272-7100▼スポンサー／新潟北

福岡大樹▼結成順位／36355▼10月10日結成▼北津留利光会長▼事務局／福岡市中央区天神2-5-21　しんれんビル2階（〒810-0001）TEL 092-771-5783▼スポンサー／福岡鶴城

■解散クラブ

神奈川県・川崎昴／埼玉県・川口南／千葉県・鋸南／栃木県・小山南／兵庫県・加古川鶴林

会議録

9月 10月　主な議題だけをまとめました

複合地区IT委員長連絡会議

第1回複合地区IT委員長連絡会議は9月15日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①世話人の互選、②昨年度の申し送り事項、③今年度の審議課題、④その他について協議した。

①は世話人に滝澤厳委員長(334)、副世話人に寒河江潤一委員長(332)を互選。

複合地区国際大会委員長連絡会議

第2回複合地区国際大会委員長連絡会議は9月20日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、I第45回東洋東南アジア・フォーラム①最新日程と変更点、②日本からの登録者数、③問題点、④国際会長歓迎晩餐会、⑤ジャパン・レセプション、II国際大会代議員投票マニュアル作成について、①代議員投票マニュアル案、②大会参加前の準備、③複合地区公認ツアー・コーディネーターの任務、III第90回国際大会、①シカゴ国際大会日程について協議した。

II③公認ツアー・コーディネーターと国際大会委員会の役割についてガイドラインを作成し、公認ツアー・コーディネーターはこれを順守するよう努力してもらうことを申し合わせ。

複合地区ガバナー協議会議長連絡会議

第4回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議は10月2日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①LCIFセミナー、②国際第1副会長の日本訪問、③上位ライオンズ・リーダーシップ研究会、④CSFII、⑤福井正憲元国際理事の国際第2副会長への立候補、⑥第45回OSEALフォーラム参加、⑦第90回国際大会、⑧薬物乱用防止全国大会開催、⑨日本ライオンズ連絡事務所管理委員会規定、⑩宮家及び内閣総理大臣へのライオンズ窓口、⑪8複合地区ホームページの担当、⑫各委員会・連絡会議報告について協議した。

③は日本から計29人の参加申し込みがあり、一覧を配布。

④は8月末現在、日本の目標額5100万ドルの約33.4%を達成したことが報告された。

ライオン誌日本語版委員会

第3回ライオン誌日本語版委員会は10月12日、ライオン誌日本語版事務所で開催され、①ライオン誌日本語版事務所運営、②10月号出来、③12月号台割（案）、④07年1月号以降台割（案）と主要記事予定、⑤ウェブサイト関連、⑥オンライン報告システムServannA、⑦創刊50周年記念事業、⑧その他について協議した。

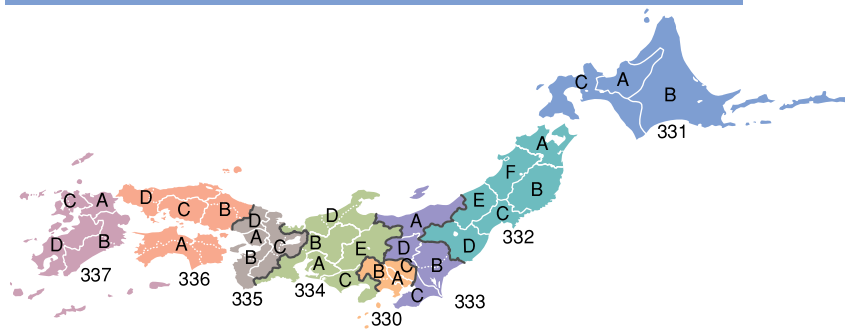
④は新企画として「論点～私はこう考える」と「ライオンズの歴史」を採り上げることを承認。

日本ライオンズクラブ クラブ数・会員数

世界のライオンズ

2006.9.30.国際協会集計		■クラブ数	■会員数	期首からの増減
ライオンズ国または領域	200	45,039	1,301,286	-185

日本のライオンズ

2006.8.31. 各キャビネット事務局集計		■クラブ数	期首からの増減	■会員数	期首からの増減
330-A	東京	207	0	5,577	78
330-B	神奈川・山梨・東京	192	1	5,799	105
330-C	埼玉	106	0	2,931	12
330	計	505	1	14,307	195
331-A	北海道（道央）	77	0	2,843	8
331-B	北海道（道北・道東）	97	-1	3,074	11
331-C	北海道（道南）	62	0	2,166	9
331	計	236	-1	8,083	28
332-A	青森	69	0	2,147	27
332-B	岩手	57	0	1,892	9
332-C	宮城	82	0	1,819	-12
332-D	福島	79	0	2,296	14
332-E	山形	56	0	2,028	19
332-F	秋田	56	0	1,598	1
332	計	399	0	11,780	58
333-A	新潟	81	2	2,990	21
333-B	茨城・栃木	137	0	4,333	10
333-C	千葉	128	0	3,584	1
333-D	群馬	56	0	2,184	-3
333	計	402	2	13,091	29
334-A	愛知	118	0	6,025	60
334-B	岐阜・三重	88	0	4,158	57
334-C	静岡	83	0	3,577	31
334-D	富山・石川・福井	98	0	4,397	43
334-E	長野	55	0	2,395	26
334	計	442	0	20,552	217
335-A	兵庫（東）	110	0	3,087	37
335-B	大阪・和歌山	203	0	7,237	29
335-C	滋賀・京都・奈良	123	0	4,766	24
335-D	兵庫（西）	69	-1	2,442	6
335	計	505	-1	17,532	96
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	155	-1	6,538	38
336-B	鳥取・岡山	102	0	3,923	18
336-C	広島	106	0	4,171	45
336-D	島根・山口	109	0	3,849	-2
336	計	472	-1	18,481	99
337-A	福岡・長崎	119	0	5,103	73
337-B	大分・宮崎	90	0	2,965	26
337-C	佐賀・長崎	84	0	3,368	32
337-D	熊本・鹿児島・沖縄	145	0	4,702	39
337	計	438	0	16,138	170
総計		3,399	0	119,964	892
世界のライオンズの		7.5%		9.2%	

岐阜県·池田神戸（334-B）写真❸
8月1日、地域に住む心身に障害を持つ方を招待し、池田町総合体育館において運動会を開催した。17団体、318人が参加。お手伝いボランティアとして中学生も参加し、皆で心地よい汗を流した。また、運動会の中で神戸中学校吹奏楽部が演奏を披露し、大変喜ばれた。

大阪マーガレット（335-B）
9月10日、鶴見区民まつりで大阪鶴見ライオンズクラブと合同で献血や薬物乱用防止街頭キャンペーンのPRを実施。同時に、子どもの遊技機を3台設置して延べ708回可動し子どもたちに大変喜ばれた。

兵庫県·千種（335-D）
9月2日、4時間掛けて千種川水生生物調査を実施した。当日はメンバー14人の他、町内の各小学校、中学校、高等学校、婦人会、生活学校など総勢66人の協力を得て、町内7カ所の調査を実施した。

鳥取いなば（336-B）写真❹
7月23日、樗谿公園で朝の清掃奉仕を実施、早朝7時からの予定にもかかわらず30分前から多数のメンバーが集合し、落ち葉や雑草などのゴミを手際よくほうきで集め、袋詰めした。ゴミの袋がどんどん集まるにつれ公園内はみるみる奇麗になり、1時間ほどで作業は終了した。

広島あさひ（336-C）
8月16日、25周年記念事業として少年サッカー大会を広島ビックアーチで開催した。小学生17チームが参加し、15分ハーフのトーナメントで競った。ゲストにサンフレッチェ広島のJリーガー、森崎和幸、浩司両選手を迎え、参加児童に大きな夢を与えた。

大分（337-B）
9月17日、青少年健全育成の一環として、第1回青少年育成大分ライオンズ祭りを開催した。「助け合い」「礼儀」「エコ活動」が目的。会場では手話講座や空手演舞、餅つき体験コーナー、おでんや焼き鳥などの出店など盛りだくさんの内容に、参加者は大いに盛り上がった。

佐賀県·伊万里（337-C）写真❺
9月10日、国見台球技場において「第8回ライオンズ杯争奪グラウンド・ゴルフ大会」を主催した。生涯スポーツの一翼を担う、グラウンド・ゴルフの一層の普及振興を図ることにより、市民の健康づくりに寄与することを目的に開催した。当日はメンバー20人を含む367人の参加があり、短い時間だったが童心に帰り楽しい一時を過ごした。

■投稿要領→11月号62ページ
※サバンナ(オンライン報告システム)からも文字原稿を投稿頂けます。サバンナで投稿された原稿は、『ライオン』誌ウェブマガジンの「クラブ・リポート」でご紹介していますので、こちらもご覧ください

サービス・アクティビティ

❶

❷

埼玉県・日高武蔵（330-C）
9月28日、早朝6時から市内清掃事業として圏央道側道のゴミ拾いを行った。10年前から年2回ずつ行っている継続事業で、昼間より参加率が断然良い早朝に作業し、作業終了後の食事会も楽しみの一つとなっている。

北海道・小清水（331-B）写真❶
8月27日、小清水町トリム公園パークゴルフ場ポテトコースで、町民の健康と親睦交流を目的に、第11回ライオンズ杯パークゴルフ大会を開催した。ゴルフ愛好者80人が参加し、4人1組で36ホールを回り競技した。上位3位までの男女に賞状と盾を贈った。

北海道・函館中央（331-C）
9月9日、函館市中学校英語教育研究会が主催する第27回英語暗唱大会が開催され、看板、盾、賞状、受付手伝いなどで協力した。この大会は中学生の英語力の基礎を高めることが狙いで、聴衆に訴えかける力、発音、態度などが審査される。5年前に運営協力の依頼があり継続事業として続けている。

山形県・西川（332-E）
使用済みローソクのリサイクルを通して障害者の自立に愛の手を差し伸べているボランティア団体「ほのぼのテラピー」に協力し、結婚式場やセレモニーホール、神社、寺院などからの回収を進めている。リサイクルローソクはすてきなキャンドルに再生され、さまざまな催し会場で使用されて、障害者自立援助の大きな手助けになっている。

秋田県・大曲（332-F）
8月26日、チャーター・ナイト40周年記念事業の一環として、雄物川河川敷にて開催された第80回全国花火競技大会で仕掛け花火を約2分40秒の間「ライオンズクラブの歌」に合わせて打ち上げた。当日、会場は75万人の見物客で埋め尽くされた。

茨城県・真壁（333-B）
7月30日、桜川市子ども会の球技大会が行われた。第1回の記念に、真壁・岩瀬・常陸大和の3クラブで優勝旗を贈呈した。当日は炎天下の下、男子はソフトボール、女子はドッジボールで熱戦を繰り広げた。

茨城県・水海道（333-B）写真❷
8月31日、地元の4ライオンズクラブ（水海道・石下・伊奈・やわら）合同で、青少年健全育成の一環として学校関係各所に薬物乱用防止についてのまんが本形式のパンフレット「Sの悲劇」を配布した。まんがを読む感覚で薬物の恐ろしさが分かるため、生徒全員に読んでもらおうと実施した。

愛知県・額田（334-A）
9月28日、額田地区内山間道の道路標識やカーブミラーが樹木や草で見えなくなっていることから、伐採などを行った。危険個所での高所作業のため、地区内の警察官や交通指導員にも協力、参加頂いた。大変な作業だったが安全を守ることが出来た。

CLUB REPORT クラブ・リポート

●この欄ではライオンズクラブ、レオクラブ、ライオネスクラブの活動報告を扱います。詳しい投稿要領は11月号62ページ、または『ライオン』誌ウェブ・マガジンをご覧ください。

埼玉県・浦和サザン・ライオンズクラブ

仲秋の名月端唄の夕べ

イラスト／篠田和夫

浦和サザン・ライオンズクラブ（境松靖男会長／23人）は9月10日、恒例のチャリティー・イベント「仲秋の名月端唄の夕べ」を開催。100人もの来場者があり、大盛況のうちに幕を閉じた。例年、希望者が自身の芸を披露する「天狗道場」への出演料や木戸銭の一部を埼玉県腎・アイバンク協会へのアクティビティとしているが、今年も同様に寄付することが出来た。

当日のお客様の中には、地区ガバナー代理を始め、20人のライオンズ関係者の参加もあり、来場者は三味線の音色に江戸の粋「端唄」のお座敷唄を堪能された様子だった。

この宴にはさいたま市を始め、観光コンベンション、商工会議所、新聞社やテレビ局など報道機関が後援、恒例行事となっている。

スタートしてようやく10年、多くを望まず一歩一歩着実に前進してきた。これからも身の丈に合った労力奉仕を目指し、会員一丸となってウィ・サーブの精神の下、がんばっていきたいと思う。(元会長／三浦弘行)

(編) 当日の様子は新聞でも詳しく紹介されました。皆さん江戸情緒を存分に満喫出来たことでしょう。

連絡先↓048・838・3899

鹿児島南洲ライオンズクラブ

桜島フェリー納涼大会

鹿児島南洲ライオンズクラブ（51人）は8月21日、結成45周年記念事業として、鹿児島市在住の養護学校の生徒と父兄約400人を招待し、薩摩半島と大隅半島の間の錦江湾を遊覧する桜島フェリー納涼船で納涼大会を開催した。

当日は久木田学園レオクラブ、さくらじまレオクラブが、弁当や飲み物の配布に協力してくれた。また、さくらじまレオクラブは、YOSAKOIソーランを踊ってくれ、一緒に踊り出す養護学校の生徒もいた。他にも水上花火やマジックショー、歌謡ショー、太鼓などたくさんのアトラクションを用意し、大変喜ばれた。

今回は台風のため、日延べしての開催だったが、会員、レオ、養護学校関係者他、趣旨に賛同し有料で乗船された方も含め総勢767人が参加し、大盛況であった。養護学校の生徒の中には初めて船に乗る子も多く、後日たくさんのお礼の手紙や品を頂いた。子どもたちに楽しい夏の思い出を作ってあげることが出来、また今期の目標でもある「育もう！45年の歴史と明日への奉仕」に沿ったとても有意義なアクティビティが出来た。(会長／竹下洋司)

(編) 当日は会場にて臓器提供意思表示カードのPRを行い、400人にカードを配布したそうです。

連絡先↓099・253・3956

千葉県・柏オーク・ライオンズクラブ

がんセンターで日独交流コンサート

柏オーク・ライオンズクラブ（髙橋稔会長／30人）は8月29日、柏市の国立がんセンター東病院で開催されたドイツ・ニュルンベルク国立歌劇場のチューバ奏者稲田達雄氏と、ドイツから来日した4人の音楽家によるコンサートに協賛した。

入院患者や医師、看護師ら約150人が詰め掛け、カンマームジカー（宮廷音楽師の称号）の演奏に一つの音も聴き漏らすまいと耳を傾けていた。演奏会の終盤には『ふるさと』、『浜辺の歌』を皆で合唱し、会場の盛り上がりは最高潮に達した。

コンサート終了後、会員たちは会場のいすを片付けながら、闘病中の方が一時でも病気のことを忘れ癒やされ、楽しんでもらうことが出来て良かったと心から思った。

5人に1人ががんになると言われる現在、当クラブは4年前、市民に参加を呼び掛け、講師例会として、国立がんセンターの前院長である海老原敏先生にご講演を頂いたことがある。がんセンターの演奏会の協賛は今年で2回目だが、社会福祉事業の柱になっている。

（元PR会報委員長／伊東英樹）

（編）本場の演奏を肌で感じ、闘病中の方々もきっと癒やされたことでしょう。素敵な演奏は心にも体にも良さそうですね。

連絡先↓04・7148・0909

東京本郷ライオンズクラブ

青少年サッカー大会

東京本郷ライオンズクラブ（橘高智光会長／19人）は9月9日、文京区の後援を得て「本郷ライオンズカップ青少年サッカー大会」を開催した。1997年から継続事業として年2回行っており、今回で19回目を迎えた。当日は400人以上の選手が参加。保護者を含めると千人近い関係者で会場は埋め尽くされ、毎回大きな盛り上がりを見せている。

そうした少年サッカーの発展と当クラブの取り組みが行政に高く評価され、更に今年はサッカー・ドイツ・ワールドカップが開催されたことから、煙山力区長から「ドイツに少年サッカーチームをぜひ連れて行きたい」との意思表明があり、区民や議会の了承も得て、ドイツへ子どもたちを送ることが実現した。

文京区の少年サッカーの原点は「ライオンズカップ」であり、東京本郷ライオンズクラブはその礎である。メンバーもこのことを誇りに思うと同時に大きな成果を上げられたことに満足感を持っている。橘高会長も「素晴らしいアクティビティなので今後も子どもたちのために発展させていきたい」と話している。

（副幹事／渡辺雅史）

（編）ドイツではワールドカップ「日本対オーストラリア戦」を観戦し、交流試合では文京選抜がドイツチームに圧勝したそうです。

連絡先↓03・3542・5711

岐阜県・高山ライオンズクラブ
ＹＥ生を座禅に招待

　高山ライオンズクラブ（82人）では、国立乗鞍青年の家で開催される334複合地区ＹＥユース・キャンプのＹＥ生51人と引率者５人に、ぜひこの機会に日本の「禅」を理解して頂きたいと寺院での座禅体験を計画し、７月30日に実施した。
　当日、バスで到着したＹＥ生らを会員全員と、通訳や交流も兼ねる高山西高校英語研究会の生徒たちと共に迎え、まず、今回お世話になった善応寺の本堂で、高校生らが英語の寸劇を披露。達磨大師が、青年の頃に出家し、壁に向かって座禅の修行を行い、悟りを開くまでを演じた。
　その後、禅堂に入り、中井藤岳僧侶から「結跏趺坐」や「腹式呼吸」の方法を指導され、全員が静座して、心の迷いを捨てて「無我の境地」に入ることに努めた。ＹＥ生は僧侶から時折、肩を叩かれ注意を受けながらも、精神統一を図った。
　終了後、ＹＥ生から「心が落ち着いた」「気分が爽やかになった」「叩かれた時は驚いたがうれしかった」など予想以上の反響が聞かれ、会員一同、胸を撫で下ろし、大変うれしく思った。今回は国は異なってもお互いの心が通い合える貴重な経験をさせて頂いたことに感謝している。
（会長／田近重信）

（編）お寺への道中、祭り用のみこしを製作中の工場前を通り掛かり、ＹＥ生はとても興味津々だったそうです。

連絡先↓０５７７・３２・５２６９

福岡県・北九州小倉ライオンズクラブ
ＣＳＦⅡチャリティー・バザー

　北九州小倉ライオンズクラブ（小田友康会長／88人）は９月23日、２００６年度の重点プログラムであるＣＳＦⅡ献金の目標達成のため、会員が所有するビルの一室を使用して、社会福祉委員会、三献委員会、ＰＲ委員会が中心となり「途上国で失明を防ぐためのチャリティー・バザー」を開催した。
　事前にポスターやチラシでＰＲすると共に、毎日新聞が、当日の朝刊に「途上国での失明防ごう」の見出しで記事を掲載してくれ、会員やその家族、市民から提供して頂いた家電、衣料品、家具、日用雑貨など数千点の物品を、会員一丸となって販売した。
　その結果、10時の開店から７００人の来場者があり、18時終了の予定が13時30分には完売となった。
　また予想の30万円をはるかに超える66万５０００円を売り上げ、協力してくださった方々に感謝しつつ、全額ＣＳＦⅡ献金とさせて頂くことにした。（ＰＲ・会報・ＩＴ委員会顧問／瀧上忠男）

（編）バザーは大盛況に終わり、市民の皆さんの関心の高さがうかがえますね。また先着制での粗品の配布などアイデアも光りました。

連絡先↓０９３・５２２・１２５１

兵庫県・龍野ライオンズクラブ

結成45周年記念に会員100人へ

今年度、龍野ライオンズクラブ（三木弘義会長／83人）は結成45周年を迎える。周年行事の中核は新会員獲得で、会員数100人を目指している。これは本年度就任した三木会長の強い意向によるもので、特別委員会「ワンハンドレッド委員会」を設置し一大事業の推進を図っている。

クラブの「改革と飛躍」を決定づける最大の要素は新会員の獲得だと信じている。我々は「地域社会が必要とする奉仕」を常に求め、タイムリーで有効な事業を実行し、会員全員がその成果を実感しなければ、地域のライオンズクラブとしてその存在が充足されることはない。それには活発な組織や事業資金がなければならない。

このことを委員会の共通認識とし、事業は4月26日の早い時期からスタートした。その努力の甲斐あって成果は目覚ましく、新年度の7月には12人の入会式を行うことが出来、10月には8人の入会式が予定されている。

このように、100人を目標に、龍野ライオンズクラブはまずは日本一のクラブへと今まさにいずれは日本一のクラブへと今まさに階段を上っている。目標ははるかに高く困難なものであり、厳しい社会情勢ではあるが、会員の理解と支援を頂きながら、一丸となって目標に向かって進んでいる。

（ワンハンドレッド委員長／福水榮作）

（編）現在会員数83人。10月の入会者を含めると残り10人を切りました。目標はもうすぐです。がんばってください。

連絡先→0791・63・0893

東京町田クレイン・ライオンズクラブ

中越地震被災地で移動例会

東京町田クレイン・ライオンズクラブ（志村容一会長／32人）は毎年夏、1泊例会を行っている。今年は新潟県中越地震被災地の仮設住宅などで不自由な生活を送っている皆さんをお見舞いし応援しようと、8月26、27日の日程で長岡市へ向かった。

出発の3日前から応援の規模や当地で喜ばれる食べ物などを十分話し合い吟味。出発前日は会員総出で仕込みをし、真夏なので傷まないよう厳重にパッキング作業を行った。

当日は志村会長の会社から大型トラックを借り、現地で使用する大型なべや釜など、必要な厨房道具を積み込み、町田を午前4時に出発した。320キロの旅だったが、既に連絡済みのため待ち構えていてくれた長岡柏ライオンズクラブ（高橋修司会長／82人）の会員たちと合流し、現地では焼そば、豚汁、フランクフルトなど約300人分を用意し、仮設住宅の人たちの長い行列で賑わった。また小さい子どもたちにはボールすくいを始め、いろいろなゲームコーナーを設置し、大いに盛り上がった。

（家族親睦委員長／小久保芳恵）

（編）新潟県中越地震から丸2年が経とうとしていますが、現在でも不自由な生活を強いられている方々の励ましになったことでしょう。

連絡先↓042・736・2666

福井県・敦賀ライオンズクラブ

水害殉難碑を移設

幕末の慶応2年、現在の福井県敦賀市鳩原地区において豪雨による大規模な土砂災害が発生。農兵隊の屯所が激しい山津波にのみ込まれ、隊長以下17人全員が命を落とした。

明治16年、地元の人々により犠牲者の名前を記した「鳩原水害殉難碑」が建立された。が、戦後、北陸線複線化工事の際、山裾の急斜面に移され人目に付きにくく、また慰霊に訪れることも困難になってしまった。

そこで本年度、敦賀ライオンズクラブ（谷口隆三会長／80人）が結成45周年を迎えるに当たり、記念事業として、殉難碑を国道沿いの平地に移設する計画を進めてきた。移設用地は地元の方から提供を受け、7月から造成工事に着手、猛暑の中、会員と地元の方々が力を合わせ敷地壁面のブロック積みや砂利を敷き詰める作業に汗を流した。また、これまでの慰霊碑を一度解体した後、移設場所に運搬し再び組み立て、9月上旬に移設工事が完了した。そして新暦の命日に当たる9月22日に開催した除幕式典では多くの来賓を始め犠牲となった農兵隊の遺族も参列した。

今回の事業により貴重な歴史遺産を多くの市民に知って頂き、ライオンズクラブの活動が地域の方々に一層理解されることを願っている。

（PR委員長／中井美朗）

（編）地元の小学校では会員が講師を務め「鳩原水害」をテーマにした歴史学習会も開催したそうです。

連絡先↓0770・22・5926

まるごと 337複合地区

Topics

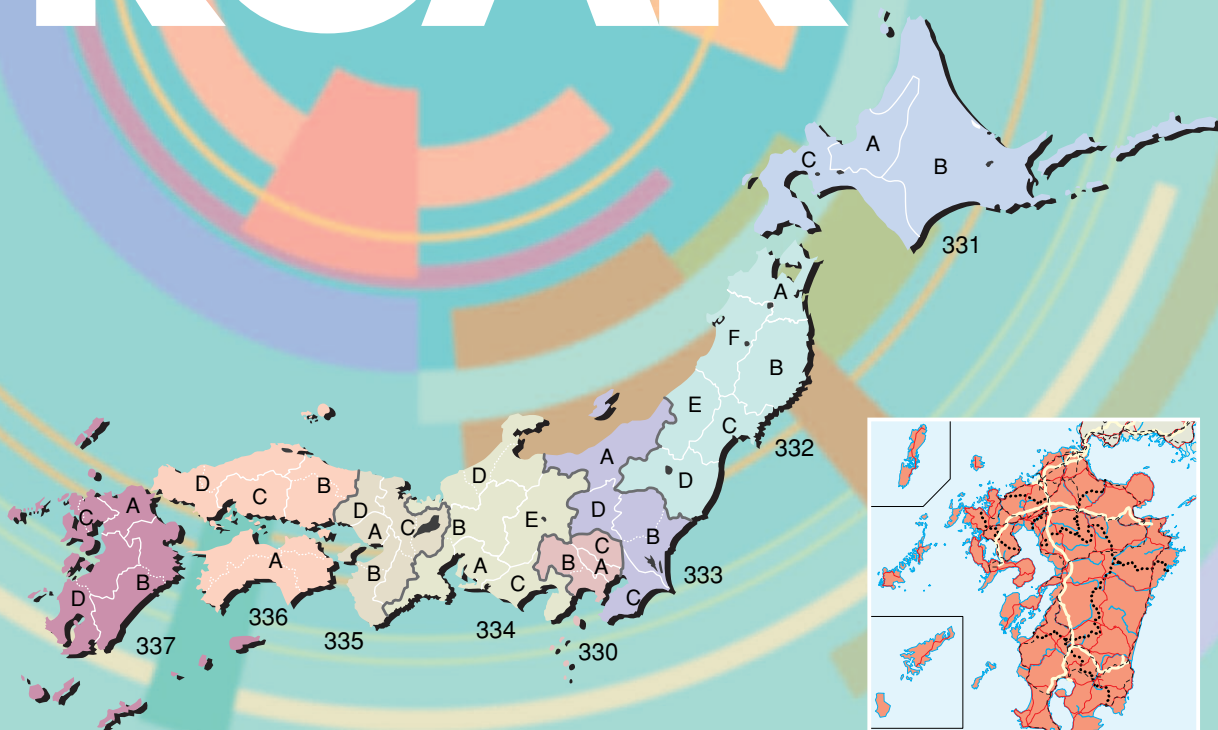
1. 福岡県久留米
2. 大分中央
3. 宮崎はまゆう
4. 佐賀西
5. 熊本県免田、錦
6. 沖縄県宮古

日本の風景　鹿児島県出水

ふるさと探訪　長崎県対馬

ROAR

331 A B C
332 A B C D E F
333 A B C D
334 A B C D E
335 A B C D
336 A B C D
337 A B C D
330

トピックス1 Topics

筑後川を眺めながらテクテク 25年目の市民万歩大会を開催

福岡県・久留米ライオンズクラブ

■取材／編集部

誰でも、どこでも楽しめて、健康づくりに役立つスポーツとして人気を集めているウォーキング。その愛好者は年々増え続けて、2000年には全国で3600万人を超えた（内閣府調べ）。実に日本人の4人に1人がウォーキングをしているわけで、まさに国民的スポーツなのである。

福岡県南部、九州一の大河・筑後川がゆったりと流れる久留米市。同市の久留米ライオンズクラブ（坂井良次会長／40人）は、「体育の日」の10月9日、筑後川の河川敷で「市民万歩大会」を開催した。市民の健康増進を目的に毎年行っているもので、今回で25回目。3歳から90歳までの老若男女約900人が参加し、ウォーキングでさわやかな汗を流した。

開会式では、市長でもあるライオン江藤守國があいさつ。「この大会は、現在のウォーキングブームの先駆け」とクラブの先見性を評価した。

参加者は、準備体操をした後、坂井会長の掲げるクラブ旗を先頭に一斉にスタートした。コースは、河川敷のサイクリングロード約5キロ。この辺りの川幅は約250メートルで、空が広く開放感がある。参加者たちは、秋晴れの下、会話や雄大な景色を楽しみながら、思い思いのペースでゴールを目指した。

筑後川の秋を楽しみながら歩く

初参加の田中勝子さん（62）は「スポーツジムで歩くよりも気持ちいい。皆さんと話しながらというのも楽しい」とにっこり。また、大町富子さん（57）は「年配の方の健脚ぶりに驚いた。自然の中を歩くのはそう快ですね」と息を弾ませていた。

約1時間で、80歳以上の31人を含む全員が完歩した。今回最高齢の野口キサヨさん（90）は「いやあ別に、いつもよう歩きおるけんね」と余裕のコメント。一方、旗手を務めた坂井会長は「向かい風でバテました。『メタボリック（内臓脂肪型肥満）』なので、これをきっかけにウォーキングを始めます」と苦笑いしていた。

参加者全員でラジオ体操。壮観である

すっかり久留米の秋の恒例行事となったこの大会。市民はもちろん、メンバーの健康のためにも、末永く続けてもらいたいものである。

Topics トピックス2

勤労障害者ボウリング大会 賞品は「ウォー」と吼える権利!?

大分中央ライオンズクラブ

■情報提供／宮崎教生（幹事）

車いすの参加者は剛腕が多い

ここ数年、障害者や高齢者でも手軽に楽しめる「バリアフリーなスポーツ」として脚光を浴びているボウリング。日本の障害者ボウリングの歴史は意外に古く、1967年の「三笠宮杯チャリティー・ボウリング大会」がその始まりだ。

大分中央ライオンズクラブ（高野國臣会長／46人）でも毎年9月、「大分県勤労障害者ボウリング大会」を開催している。大分県と大分県総合雇用促進協会との共催で行われているもので、今回で11回目を迎えた。働く障害者の体力の増進と、障害者同士の親ぼくを深めてもらうのが狙いだ。

去る9月10日、大分市内のボウリング場で行われた大会には、県内で働く障害者48人が参加。和気あいあいとボウリングを楽しんだ。

開会式では、あいさつに立った高野会長が「ウォー」とローアを披露。なぜか参加者たちに大うけで、一気に緊張がほぐれた。そんなこともあって、会場はスタート前から、1年ぶりの再会を喜ぶ参加者が、仕事の近況を話し合うなど、にぎやかな雰囲気に包まれた。

競技は、「一般の部」と「車いすの部」の2部。参加者たちは、メンバーとその夫人ら32人の介助や声援を受けながら球を投げた。中でも、車いすの参加者は、上半身が発達しているので、力強い投球を連発。場内に、ピンのはじける音を響かせていた。

メンバーとハイタッチを交わす

参加者たちは、ストライクやスペアを決めるごとに、メンバーたちとハイタッチを交わして大喜び。ガーターを出せばメンバーたちもガックリ。参加者とメンバーたちは約2時間、一緒になってボウリングに興じた。

表彰式では、入賞者には賞状と賞品の他、急きょ「ローアをする権利」も授与されることに。入賞者たちは、照れくさそうに「ウォー」と勝利の雄叫びを上げていた。

高野会長は「参加された方の喜ぶ姿を見るとやってよかったなと思う。これからもぜひ続けていきたい」と話している。

表彰式で照れながらローアをする入賞者

ケアハウス入居者の作品展 お年寄りの生きがいづくりに貢献

宮崎はまゆうライオンズクラブ

■情報提供／井上和義（前会長）

Y・T（76歳女性）切絵「お内儀」

ちょうど5人に1人。日本の総人口に対する65歳以上の割合である。日本は世界一の高齢国になった。政府も、高齢化に備えた社会づくりを急いでいる。その一環として、「生きがい情報士」なる資格を創設。高齢者の生きがいづくりを支援している。

そんな中、宮崎はまゆうライオンズクラブ（奥野義文会長／30人）では毎年、宮崎県内のケアハウスに入居するお年寄りを対象に、「長寿ふれあい作品展」を開催している。お年寄りが作ったさまざまなジャンルの芸術作品を一堂に集めた作品展だ。お年寄りの生きがいづくりに役立てれば、と3年前に始められた。

昨年11月に行われた第3回の作品展には、16施設から約300点の作品が寄せられた。出品者の平均年齢は85歳。会場となった市内のホールには、施設ごとに作品が展示され、出品者やその家族、市民ら約650人が訪れた。メンバーはパンフレット作成や会場設営などを担当した。

作品のジャンルは絵画や書、生け花、手芸、彫刻など、実にさまざま。素人とは思えない見事な油絵や切絵もあり、来場者たちはしばし足を止め見入っていた。中には、「作品を譲ってほしい」と申し出る人も。

お年寄りたちの作品に掛ける意気込みはかなりのものだ。会場に訪れた出品者たちは、他の施設の作品をチェック。「自分の作品の出来映えと比べて、喜んだり、悔しがったりしています。来年はもっといい作品を出そうと、ライバル心を燃やしているんです」と奥野会長。

「ケアハウス シャトル」の職員・三島英（たけし）さんは「制作に没頭していると、お年寄りの表情が生き生きしてきます。特に完成が近づくと明るくなりますね。作品づくりは入所者たちの張り合いになってます」と語る。

作品展の実行委員長・ライオン井上和義は「来場された出品者たちの笑顔を見るのがやりがい。参加施設の数を増やして、より多くのお年寄りに出品してもらえれば」と話している。

Topics トピックス4

地引き網を引きながら国際交流
飛び跳ねる魚に留学生ら大喜び

佐賀西ライオンズクラブ

■情報提供／久間清方（会長）

地引き網を引く留学生とライオンズ

佐賀西ライオンズクラブ（久間清方会長／29人）では、佐賀大学の留学生と地引き網を引いて交流する「ふれあい地引き網」を開催している。物価高の日本で苦学している留学生、特に東南アジアからの私費留学生を励まそうと毎年8月に行っているもので、今年で10回目。それぞれの祖国にライオニズム精神を伝えてもらう狙いもある。

今年8月5日、唐津市の浜崎海岸で開かれたふれあい地引き網には、留学生18人と、メンバーとその家族約50人が参加。力を合わせて網を浜へ引き上げた。

留学生の国籍は中国、ネパール、スリランカ、エジプト、バングラデシュなどさまざま。全員が地引き網初体験である。

網は、地元の漁師たちが、砂浜の沖合約500メートルに投入。参加者は、二手に分かれて網の両端についた引き綱を「よいしょ、よいしょ」と声を合わせて引っ張った。海水浴に来ていた家族連れも飛び入りで参加。網が浜に近づき、魚りんが光ると、参加者から歓声が上がった。

奮闘すること約1時間、引き揚げた網の中には、コノシロやキスなどが飛び跳ねており、参加者たちは大はしゃぎ。獲物は全部で10キロほどで、地引き網では珍しいタコや、50センチ近いクロダイもかかった。

石慧婷さんは「出身地の上海では見かけない漁で、貴重な体験が出来た。魚が一度にこんなに捕れるなんて信じられない」と驚いていた。

獲物はコノシロやキス、クロダイなど

捕れた魚は早速、刺し身やバーベキューなどに。イスラム教徒の留学生たちも「魚ならOK」と味わっていた。その他、留学生とメンバーらは、海水浴やスイカ割り、ビーチバレーなどを楽しみながら交流。最後はライオンズらしく、海岸の清掃奉仕で締めくくった。

久間会長は「留学生の皆さんが帰り際、片言の日本語で言ってくれる『アリガトウゴザイマシタ』がメンバーの励みになっている。予算的に苦しいが、今後もメーン・アクティビティとして続けていきたい」と話していた。

捕れたての魚を食べながら交流

パチンコ店にお年寄りを招待 フィーバー続出にニコニコ顔

熊本県・免田ライオンズクラブ・錦ライオンズクラブ

■情報提供／嘉村記念（免田ライオンズクラブ幹事）

熊本県南部、人吉盆地の中央に位置するあさぎり町。同町の免田ライオンズクラブ（高田啓世会長／52人）と錦ライオンズクラブ（亀田豊治会長／31人）は9月19日、老人福祉パチンコ大会を開催した。外出して娯楽を楽しむ機会の少ないお年寄りにパチンコを楽しんでもらおうと、毎年、敬老の日前後に行っているもので、今年で15回目。今回も、メンバーの経営するパチンコ店を借り切って、近隣の特別養護老人ホーム9施設の入所者90人を招待した。

パチンコ台に向かうお年寄りたち

店はこの日定休日。両クラブのメンバー20人が、車いすでも動きやすいよう、パチンコ台の前の座席を取り外すなど、店内をバリアフリーに「改装」した。

入店したお年寄りたちは早速、施設職員やメンバーらの介助を受けながら、パチンコに挑戦。約1時間、出玉を競った。大量出玉になりやすいよう、パチンコ台を調整しただけあって、フィーバーが続出。中にはうれしそうに箱を積み上げるお年寄りもいた。「いつもはこぎゃん出らんですよ」とメンバーたち。あふれ出るパチンコ玉に興奮しながら、お年寄りと一緒になってパチンコを楽しんだ。

介助を受けながらパチンコを楽しむ

お年寄りたちは「もう20歳若ければ毎日でんよか」「この年になってパチンコば楽しめるとは」などと言ってうれしそう。

結果は、個人戦では約5箱、8740個を出した横井トミエ（83）さんが優勝した。パチンコ初体験の横井さんは「楽しかった。来年も優勝を目指します」と喜んでいた。施設対抗の団体戦で優勝したのは「特別養護老人ホーム あずみ野」だった。

バリアフリーの店内に入る参加者

同施設事務長で免田ライオンズクラブのライオン那須弘紹は「パチンコをしているお年寄りたちの表情は生き生きしてますね。中には悔しそうにしている人もいますけど」と笑う。

免田ライオンズクラブの高田会長は「皆さん、こちらが思う以上に、この大会を楽しみにしてくれている。これからも、ぜひ続けていきたい」と話している。

Topics トピックス6

中高生ら宮古島の自然を描く 漂う南国情緒に観光客も見入る

沖縄県・宮古ライオンズクラブ

■情報提供／岡村かおる（事務局員）

根間小春(高校1年)「みんなのここちよい場所」

沖縄本島の南西およそ300㌔、大小六つの島からなる宮古島市。その中心となる宮古島の宮古ライオンズクラブ（下地博会長／32人）では、「中高生絵画コンクール」を主催している。テーマは「宮古の素晴らしい自然と環境」。毎年10月に開催しているもので、今年で12回目を迎える。絵を通して、子どもの豊かな感性を育て、ふるさとの素晴らしさを再発見してもらうのが狙いだ。毎回、地元メディアに大きく取り上げられ、今や島の恒例行事となっている。市内のギャラリーで行われる表彰式と作品展には、市民だけでなく観光客も訪れる。

今年のコンクールには、市内の中学・高校8校から計122点の作品が寄せられた。赤瓦と漆喰（しっくい）の民家やコバルトブルーの海、原色の熱帯植物などが描かれ、南国情緒たっぷりである。審査に当たったのは地元在住の画家6人。作品の構図や明暗、遠近などを基準に審査した。

去る10月12日、表彰式が行われ、中学の部では川満美耶さん（中学3年）の「初夏の陽の中の緑」が最優秀賞に輝いた。陽光を浴びる熱帯植物の陰影を丹念に描いた労作である。

川満美耶(中学3年)「初夏の陽の中の緑」

「明るい雰囲気を出す作業が難しかったが、光の加減をうまく表現出来たと思う。受賞は予想外でうれしい」と川満さん。高校の部の最優秀賞は、残念ながら「該当作品なし」だった。

入賞者に表彰状を授与する下地会長

講評では、審査委員長の池村恒仁さんが「全体的に、細かいところまで描ききれていない作品が多い。時間をかけて精いっぱい描いてほしい」と述べた。

コンクールの実行委員長・ライオン富山裕策も「実は、年々作品の質が落ちているんです」と明かす。絵が生き生きしてないのである。学校の美術教師たちも同意見だ。「開発が進んで子どもの感性が変容してしまったのでは」と懸念するメンバーも。

下地会長は「子どもたちには、みずみずしい感性をずっと持ち続けてほしい。美術の先生方と協議して、よりよいコンクールにしていきたい」としている。

表紙シリーズ 日本の風景

鹿児島県・出水
1万羽が冬を過ごす鶴たちの楽園

■切画：風祭竜二　文：編集部

毎冬、1万羽もの鶴が越冬する出水市荒崎で、長年にわたって鶴たちを見守ってきた又野末春さんにお話を伺ったことがある。

ある年、羽に傷を負ったオス鶴を保護し、次の冬まで保護舎で世話することにした。渡りの時期の3月になってもつがいのメス鶴は飛び立とうとせずに、保護舎の中のオスと鳴き交わしている。5月に入りやっと旅立ったメスは、冬の訪れと共に第一陣で飛来し、保護舎の上空を旋回しながら鳴いた。春にはすっかり傷の癒えたオスと一緒に、シベリアへ帰って行ったそうだ。

よく「おしどり夫婦」と言われるが、おしどりの雌雄が一緒にいるのは交尾から雛がかえるまでの間で、実はつがいの相手は毎年変えている。一方、鶴は何らかの理由で一方が欠けるまで同じつがいで暮らすのだそうだ。

出水で越冬するのは、表紙写真のマナヅルと少し小振りで全体に黒っぽいナベヅル。江戸時代から飛来していたが、昭和27年に特別天然記念物の指定を受けて餌付けも行われるようになり、飛来数が増えていった。今ではなんと世界中のナベヅルの約8割が渡って来るのだそうだ。地元の人たちに温かく見守られ、よほど居心地がいいに違いない。（河）

観光一口メモ

出水市の麓町一帯には、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された武家屋敷の街並がある。肥後との国境に当たる出水には薩摩藩内で最大規模の外城が置かれ、「麓（ふもと）」と称する武家屋敷に多くの藩士が居住して防衛に当たった。奇麗に刈り込まれた生垣が整然と並び、薩摩藩士の気風を偲ばせる。

アクセス

JR九州新幹線出水駅を発着し、ツル観察センターや武家屋敷などを巡るツル周遊観光バスが、ツルが越冬する12月1日から2月末まで運行される。

周辺クラブ

出水ライオンズクラブ（スポンサー／水俣ライオンズクラブ）は1962年結成。

ふるさと探訪

長崎県　対馬

石を知り尽くした職人の一彫りが、天然石に新たな命を吹き込む。

■文／砂山幹博　写真／田中勝明

芸術品の域にまで高められた硯

九州の北方、玄界灘に浮かぶ国境の島・長崎県対馬。島の南部、奥深い山間を流れる若田川の川辺で採取される若田石は、国内でも有数の硯（すずり）の良質原料石である。色は青みを帯びた漆黒、表面に美しい斑紋や条線が浮かび上がる石は、堆積した粘土が幾層にも重なり固まって形成された頁岩（けつがん）の一種。この石が持つ文様をそのまま生かして作られる若田石硯は発墨性に優れ、多くの書家から名品として高く評価されている。嘘か誠か平安時代中期に紫式部が『源氏物語』を執筆した際に使用したとも伝えられる。現在、島に４人だけとなってしまった硯職人の一人、広田幸雄さん（82）に事の真相を伺った。

「どのようにして若田石硯が玄界灘の孤島から京の都に渡ったのか、とてもロマンのある話ですが、これを立証するものが残っていないので真偽の程は分かりません。ただ、江戸初期に若田川で硯の形状をした石を拾った人物が、この石を天然の石硯として高く評価したという記録は残っています」

記録とは、大儒者・林羅山が著した『霊寿硯記（れいじゅげんき）』で、この中で天然の石硯は質が良い上、美しい文様を兼ね備えていることから、中国硯の最高峰「端渓」「羅文」に優るとも劣らないと評されている。

実の所、若田石硯はいつの時代から作られているのか、誰がどのように伝えたのかは一切不明である。明治の中期から商品として本格的に制作され、大正末期に漆塗りで光沢を出す現在の技法に改められた。平成３（１９９１）年には長崎県伝統工芸品に指定され、全国的に知られるようになった。

若田石に魅せられて

「硯作りは石で決まる」と広田さんは断言する。従って、職人の仕事は石選びから始まる。自宅の裏に作った作業場からのどかな田園地帯を５分も歩けば採石場の若田川だ。川縁に畳を何枚も重ねたような縞模様の岩が続いているが、この岩こそが原石の若田石。岩々をじっと見つめ、その中から「良い石」を見つけると、鍬で一枚一枚岩盤から剥がしていく。

「良い石とは、良く墨が擦れる石。つまり『鋒芒（ほうぼう）』が適度に細かい石」と広田さんは言う。「鋒芒」とは微細な石英粒の集まりのことで、ちょうど下ろし金のような役割を果たす。石英の量が多いと墨が良くおり、少ないと墨が滑って発墨しない。鋒鋩が細かすぎず、荒すぎず、程よいバランスを保っているものが良い硯と言われる。

広田さんの眼にかなった石は大小さまざま。これらの石を小さいもので半年から１年、大きいもので３年間、倉庫の中で乾燥させる。硬すぎず、柔らかすぎない状態がベストだというが、その度合いは打音で判断。必要に応

【扉写真】 静寂の中、石を削る音だけが響きわたる作業場で
❶鍬で一枚ずつ石を剥がす
❷ノミの柄先を肩口にあて、しっかりと固定。腰を入れて身体全体で押し出すように石を削り取っていく
❸自然の風合いを重視しているため、表面に漆をかけ、石の持つ面をそのまま生かした製品が多い

❹幾重にも連なる山々と、大小無数の島々を海に浮かべる浅茅（あそう）湾。浅茅の名は、古く『万葉集』にも見える
❺島の北端から韓国を眺める。対岸まではわずか49・5キロ。天気の良い日には肉眼でも釜山の街を見ることが出来る
❻その昔、島じゅうで見ることが出来た石屋根倉庫。近年は島の南部に数える程が残されているに過ぎない

じて使う石を原石から切断し、大きさや厚さ、形状や模様など石が最も良く生きるものを吟味していく。

選んだ石は、荒彫り、仕上げ彫りを経て、磨き・つや出しとなる。砥石や耐水ペーパーを使って何度も研いだ石に、自然の文様が生きるように生漆を指先で丁寧に塗りつける。「ある展覧会でこの模様をどうやって作り出すのかと聞かれた時、磨いただけだと言っても信じてもらえなかった」と広田さん。多少謙遜してそう話すが、この文様が浮かび上がることもすべて計算して削り、磨くのは言うまでもない。

消してはならない若田石硯の灯

広田さんと若田石硯の出合いは、幼少の頃までさかのぼる。農業をする傍ら硯作りをしていた祖父の影響もあって、硯石に親しむ機会の多かった広田少年は、いつしか祖父の作業場に出入りし、見よう見まねで硯を作るようになる。その後、会社勤めをする一方で、知人から頼まれると硯を作るという生活が続き、腕を磨いていった。会社勤めを辞め、硯作りに専念したのは昭和47（1972）年。きっかけはある新聞記事だった。「若田石硯の灯が消えるのか」と題した記事には、対馬に一人となってしまった硯職人が亡くなれば、何百年もの歴史を誇る若田石硯は潰えてしまうとあった。記事に触発された広田さんは、勤めていた会社を辞め、硯作りに専念すると決めた。48歳の大決断である。

現在は主に、全国にいる愛好家からの注文生産をこなす毎日。月平均で4～5面の硯を作る一方で、力を注いでいるのが公民館での硯制作講座。受講生の中から後継者が出ることを願ってのライフワークである。講座では必ず「石に興味を持って」と話す。島全体が岩で出来ている対馬には、若田石以外にも砥石の原料になる石などさまざまな種類の石を見ることが出来る。そのため、熱した石の上で鮮魚や野菜をあぶる郷土

料理「石焼き」や、屋根を石で葺いた穀物倉庫「石屋根」など独特の石文化も根付いてきた。

「若田石じゃなくてもいい。硯になりそうな石は持ち帰って彫ってみてほしい。そこから対馬の新しい硯が生まれても面白いじゃないですか」と広田さん。背負ってきた伝統に固執しない柔軟な姿勢も見せる。幸い、職人に追いつこうかという実力を持った受講生もいて、将来が楽しみだという。若田石硯の灯が次代に受け継がれるその日まで、広田さんはいつもと変わらず石と向き合っていく。

ろくべえ

原料のサツマイモの風味はほとんどしない。その分、季節の魚で取った出汁との相性が良い

対馬でしか味わえない食べ物の一つに「ろくべえ」がある。鶏と魚で取った澄んだスープを使った麺料理だが、麺がいささか珍しい。見た目からして風変わりで、透明感のある黒い麺は太く短い。口へ運ぶと、こんにゃくのようなプリっとした弾力を楽しむことが出来る。独特の食感はサツマイモの澱粉から得られる。臼ですり潰したサツマイモを寒い時期に家の軒下などに並べ、半年ほどかけて発酵させると「せん」と呼ばれる澱粉を採取出来る。これを団子状にして乾燥させた「せんだんご」が麺の原料となる。せんだんごは冬が厳しい対馬ならではの保存食で、かつては各家庭でたくさん作り置きし、必要な時に水で戻して白玉のような団子にして食していた。

麺料理「ろくべえ」が誕生したのは江戸時代。そのままの団子状ではコシが強すぎて食べずらかったので、麺状に改良し、出し汁につけて食べるスタイルが編み出された。考案者である六兵衛さんの名前がそのまま料理名となったと言われている対馬を代表する伝統食である。

クラブ紹介

対馬に唯一のクラブが、つしまライオンズクラブ（住田要範会長／37人）。福岡県・つくしライオンズクラブのスポンサーで1967年に結成され、来年の5月27日に晴れて40周年を迎える。アクティビティで力を入れているのが青少年事業。特にスポーツに関するものが多い。

6月下旬、全島から小中学生が集ってライオンズ旗を競い合う「つしまライオンズクラブ旗全島少年剣道大会」が開催される。子どもたちは、団体戦と個人戦で年に一度の腕試しを行う。今年で31回を数える対馬きっての一大イベントである。また、運動会シーズンまっただ中の10月には「対馬ジュニア陸上大会」を実施する他、12月には、警察が主催する防犯武道大会に参加賞を寄贈し、表彰式を段取りするなど大会運営をサポート。スポーツ以外では、クラブ事務局の所在地である厳原町の小中学校を対象とした「厳原町少年の主張大会」を開催。元気いっぱいの主張を審査する。

■つしまライオンズクラブから読者プレゼントがあります（65ページ）

競争時代を迎えたボランティア活動⑫ ライオンズクラブと市民団体の挑戦

法人化について考える(2) 最終回

■坂本信雄（京都府・亀岡保津川クラブ）
京都学園大学経営学部事業構想学科教授

法人化のメリットは税制上の恩恵に向けられる。新しい公益社団法人や認定NPO法人になることで、税制上の恩恵が得られる。中でも会員の寄付に関して寄付控除を受けられることだ。

これに関する公益社団法人の扱いはまだ不明確だが、政府税制調査会などの審議状況から、学校法人や特定公益増進法人並みの優遇措置になるものと思われる。これが認定NPO法人になると、寄付を行った個人や企業などの税金の還付が明確にされている。個人の場合、寄付額から5千円差し引いた額が所得控除の対象になるが、実際の控除額は個々人の所得税率に左右される。また、会社を通じる寄付では、損金算入限度額の枠が一般の寄付金による損金算入限度額の枠とは別枠になるのでそれだけ寄付がしやすいことになる。

団体としてのメリットもある。相続・遺贈によって財産の寄付を受けた場合、これを免税として扱うことが出来る。また、預貯金の利子所得や固定資産に対する課税も公益社団法人では学校法人などと同じように非課税になる可能性がある。しかもライオンズクラブはほとんどの場合、収益事業に該当する事業を伴わないので、他の団体が苦慮している課税問題は生じないであろう。

問題は、このような税制上の恩恵を受けられる法人になるためにはそれなりのハードルがあることだ。両者に共通している最も重要な要件は、公益的活動が法人の主要な活動であること、その上で設立の認可は公益社団法人が民間有識者からなる第三者機関で、認定NPO法人が国税庁でそれぞれ判断される。具体的には認定NPO法人の場合、総事業費のうち特定非営利活動、すなわち社会奉仕活動の支出割合が80%以上、受け入れ寄付金額の70%以上が社会奉仕活動に充てることになる他、寄付収入や会費などの合計額が総収入の3分の1以上（小規模法人の特例）などとされている。これをライオンズクラブに当てはめると、総事業費の範囲にもよるが、まずもって公益的事業、つまり奉仕活動の割合が要件を充たすかどうか、場合によっては会員を対象にした共益的事業の割合を引き下げることで条件をクリアすることも考えられよう。

イラスト／藤英毅

次に、現実の問題としてすべてのクラブを法人化するのが困難であれば、例えば「日本版LCIF」のような組織を地区ないし複合地区レベル、あるいは日本全体の別組織として設立することが考えられる。ちなみに、LCIFはライオンズクラブ国際協会とは別組織であり、アメリカの非課税団体として寄付金控除や損金算入の適用を受けている団体である。「日本版LCIF」の下では会員の寄付が「日本版LCIF」に向けられるが、実態は各クラブが現在、実施している事業費の一定額を振り替えることと同じであり、他方、各クラブは社会奉仕活動の事業計画を「日本版LCIF」に申請して事業資金を得ることになる。そうすることによって所得控除ないし損金算入の道が開かれるが、各クラブはこれまでの会費額を減らして、その分寄付額を増やせば還付される税も増える計算になる。従って、これまでの会費と寄付額の合計額は事後的にせよ、実質的に減らすことが出来るので、これを事業費の増大に結びつけるかどうかは各クラブの判断になろう。更に、会員以外からの寄付を受け入れる機会にもつながり、それは名実共に地域の社会奉仕団体としての地位をゆるぎないものにすると思われる。

ボクの見てきた160カ国

●最終回（オーストラリア）

シドニーのハーバーブリッジに登る

厚沢弘陳（あつざわひろのぶ）
（東京関東ライオンズクラブ）

ボクは今までにオーストラリアでは、パースでスカイダイビングをしたり、アリススプリングでは熱気球に乗り、そしてエアーズロック登山などの冒険？をしてきたが、今度はシドニーにある「ハーバーブリッジ」のアーチに登ってきた。

「あつざわさん。もう日本語のガイドによるこのツアーは満員でお取りすることが出来ません」

ツアーデスクでそう言われたがどうしても諦めきれないので、英語のツアーならあるかもしれないと思い、橋の近くにあるオフィスに行ってみると、もう変わり者たち？が集まっていた（人のことは言えない！）。まずビデオによる説明があり、ポケットに入れている物は全部出して保管させられる。そして防護服を着、命綱とパラシュートまで着けるといったものものしさだ。

ボクは前記のようにスカイダイビングでパラシュートを背負って飛び降りたが、ここではそれをどうやって使うのだろうか？

その辺が分からないまま、いよいよ鶴のように首の長いインストラクターと登頂開始だ。最初に命綱をロープに装着する。ヨーヨーのお化けみたいな丸い玉をロープに取り付けると、ところどころに固定してある金具をうまくクリアーする仕組みになっている。金具を通過する度に、「カチャン、カチャン」という音がリズミカルに響く。これはなかなかうまく出来ていると思った。さあ、いよいよ登りに掛かる。最初は橋脚の急なタラップが待ち受けている。幅が狭くて滑りやすい。やっとの思いで上に出ると、今度はアーチの登りに掛かる。下を見ると、橋には8車線の道路と側道、そして時折列車が轟音と共に通過する。スリルそのものだ。

ハーバーブリッジの頂点に立つ筆者

こうして水面から134㍍の頂点に立つ。辺りを見回すと素晴らしい眺めだ。有名なオペラハウスや高層ビルが目の前に見え、眼下にはヨットが水しぶきを上げて走っている様子は、まるでオモチャのようだ。でもさすがに高い。断っておくが高所恐怖症の人は、くれぐれも登らないことをお勧めする（当たり前だ！）。

しかしボクがさっきから疑問に思っていることが一つある。それは身に付けているパラシュートをどうやって使うのか、ということだ。そこで「鶴氏」に聞いてみた。

「あははははー。おれもまだ使ったことはないよ。急に突風でも吹いてきた時に使うのさ」

あまりはっきりしない返事を聞いているうちに、時間がきて今度は下りに掛かり、このチャレンジは無事に終了した。「やったね！」。ボクは、この冒険をやり遂げた満足感でいっぱいだった。「今度はアーチの上からパラシュートで飛び降りてみようかなあ」などと、ボクの冒険心は無限に広がっていくのだ。

題字／柘植 猛（愛知県・豊田シニア）
（投稿要領→11月号62ページ）

●獅子吼（ししく）①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力にたとえていう語。②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）

何事も人物次第

福田 幸也（鹿児島リバティ）

ライオンズクラブの会員である我々は、家庭、職場、地域においてエリートでなければならない。同時に、ライオンズクラブは奉仕という精神・理念をもってエリートを養成する道場でもある。

ジミー・ロス国際会長が公式訪問で「我々が何者であるか、何を成すべきかという原点に立ち戻り……」と語ったように、我々は今一度、ライオンとして「いかにあるべきか」を考え直してみなければならない。

立派な組織があり、理念・目的があったとしても、それを生かすも殺すも、そこに集まる人間次第。要は理論や手段によるより、会員自身がもっと人間形成をし、友情を培い、それにふさわしい人物となる必要がある。

末期がん患者の死を看取ったホスピスの医師の話では、生きてきたプロセスが死んでいくプロセスを決めるのだという。それゆえに、死の準備という観点からすると、良き死に方をするには、良き生き方が大切であると――。

良き生き方とは、「今」が「永遠」であるという工夫。一期一会。報恩・感謝の心を持って陰徳を積んでいく生活と考える。

平たく言えば、我々はライオンズ会員として「無私」「無欲」「友愛」のために尽くし、かつそれぞれの家族をいかに幸福にするかが、より良い生き方につながるのだと思う。

創立者メルビン・ジョーンズは、ライオンズの名称の由来について「徳行」を具現するものであると記している。

例会出席は、会員にとって重要な意味を持つ。例会に参加して、お互いの人生の意味、人生の価値を考える。更には切磋琢磨し、啓発し合いながら一層の人格の向上を図り「陰徳」を実践する。会員は刺激の多い、功利的で打算的な競争社会の中で活躍している人がほとんどなので、例会はお互いの心を癒やし、年を忘れ、地位・身分を忘れ、人生・生活を楽しむ、憩いの場所でなければならないと思う。

奉仕の本義は、会員が「仁」を成すことにある。「仁」とは一切を生成、化育する自然

の姿と同じように、同志、家庭、職場、地域などのすべての人々を包容し、敬愛することにより、自ら少しでもより大きく生きようとする努力を言う。手段的なものではなく、徳行の具現である。

漢籍の『大学』という本の中に「物を格して而る后知至る（ライオンズで言う知性）、知至りて而る后意誠なり（ライオンズで言う誠実）、意誠にして而る后心正し、心正しくして而る后身修まる、身修まりて而る后家斉ふ、家斉ふて而る后国（ライオンズクラブ）治まる、国治りて而る后天下（地域社会）平らかなり」という教えがある。

それでは、人物とはどういう人を言うのか。

「自ら處すること超然。人に處すること藹然。有事斬然。無事澄然。得意澹然。失意泰然（六然）」

「自分には一切捕われず脱けきっており、人に対しては、いつも和やかに好意を持ち、何か事があれば活気に充ち、事がなければ水のように澄んでおり、得意の時はあっさりして、失意の時もゆったりしておると言うことは、よほど修練を要する（『百朝集』安岡正篤著・関西師友協会発行より）」

これが出来たら真の人物である。

（飲食業・59歳）

モッタイナイ

川本　浩康（奈良）

２００６年７月、「もったいない」をスローガンに、嘉田由紀子氏が滋賀県知事に当選した。戦前の日本人なら、誰しもがこの「モッタイナイ」を実践していたのだが、戦後の好景気はそれを無用なものとした。修理より新品の方が安くつくので使い捨ての習慣がつき、この世の唯一のことまで、新たにあるという錯覚に陥った。「モッタイナイ」が新鮮なスローガンとなれたのは、不況・不祥続きの今日、合点されやすくなったからであろう。

世界でも、この「モッタイナイ」が広まりつつある。ケニアの女性で２００４年ノーベル平和賞を受賞した、同国環境副大臣ワンガリ・マータイさんが、その発信源である。彼女は、日本語の「モッタイナイ」という言葉に感銘を受け、「MOTTAINAI」キャンペーンを展開し、世界的に資源を効率良く利用しようと訴えている。

それにしても、現代の日本人は「モッタイナイ」だらけの生活をしている。思い当たることを少し挙げてみる。

冷暖房の効きすぎや昼夜の照明などの電力消費。食べ残し売れ残りの廃棄処分。田畑や広場よりも道路と駐車場。家族の個室化、独り暮らし、乗用車の一人乗り。１日平均３時間は携帯メールやテレビゲームをする子どもたち。現実とバーチャルな世界を混同し切り替えが出来なくなる親や子、教育下手（労力、体力低下に至る熱心な教育）、日本人の精神や日本語よりも英語必須など……。現代の便利快楽・飽食怠惰が助長し、終いには、メタボリックシンドローム・うつ病・機能低下に至り、リハビリ・薬・検査で長引かせ、行きつく先が認知症やがん。地球の生物と資源が人の脳細胞のように、刻々と減っていく——。「モッタイナイ」はまだまだあるが、愚痴をこぼしてばかりでは「モッタイナイ、モッタイナイ」。

日本の総人口、１億２千万人強。１人が１日１時間を大切に出来れば、また、余分な１００円を節約出来たなら、日本は変わることだろう。例え10円の節約でも12億円。毎日、日本のどこかで、世界のどこかで、12億円分の願いごとが実現出来ることになる。

そう思うと、これからも「モッタイナイ」という意識は持ち続けて行きたいと思うのである。

（医師・69歳）

単位クラブの法的性格と運営考

野々山 二郎（愛知県・津島）

1. 単位クラブの法的性格

単位ライオンズクラブの組織の実態に、その法的性格面から目を向けると、およそ次のような姿が見えてくる。

①団体としての組織がある
②代表者（役員）の定めがある
③個人を超越した団体としての意思決定機関（例会）があり、当該意思が多数決の原理によって運営されている

ライオンズクラブは、れっきとした社会団体ではあるが、利益の追求を目的としていないから、現行法制下では法人格を取得することは出来ない。非営利で法人格を取得しているものにNPO法人があるが、その目的は法律により限定列挙されており、ライオンズクラブの目的とはなじまないものがある。

このような団体を、法は「人格なき社団」と呼称し、法人として扱う。従って、その法律行為の結果はすべてその団体に帰属することになっている。ということは、ライオンズクラブが民事訴訟法第二十九条に定める当事者能力を有していることを意味している。

つまり、裁判において原告となり被告となる能力を有しているわけであるから、クラブが行う各種奉仕活動において、第三者に対して損害を与えた場合は損害賠償の責任を負わねばならないということである。

イラスト／小川和政

2. 単位クラブ運営における理事会

クラブ会則標準版によると、理事会は「すべての新企画及び新施策を委員会に付託し、検討及び答申を求める」「クラブのすべての支出は理事会の承認を得なければならない」「理事会は本クラブのいかなる役員の職務遂行上の行為を修正または取り消す権限を持つ」といった任務及び権限を有している。

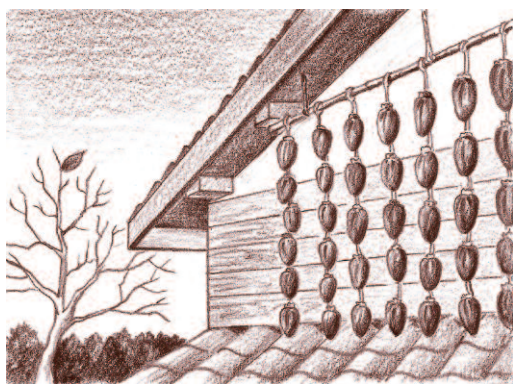
特にクラブの全支出につき理事会の承認を求めているのは、クラブの法的性格が「人格なき社団」であり、その財産の所有形態が「総有」であることから当然の帰結であり、我々会員は、深く認識すべきことと思料する。

「総有」とは、全会員で所有するが、共有とは異なり処分権は無く、退会しても財産につき分割請求権は無いのである。

3. 単位クラブの運営について

また、同会則には、理事会は「クラブの執行機関であって、クラブによって承認された施策を実施する責任を持つ。すべての新企画及び新施策は理事会で検討、立案の上、クラブ例会の承認を得なければならない」となっている。

事業計画や予算に関し、例会において承認を受けた場合は、理事会は事業執行権及び支出執行権を付与されたのであるから、爾後、事業計画または予算に基づき実施した施策等について、会員に認識と共感を共有してもらうために「報告」すれば足りるのであって、個別に承認を求める必要はないのである。

クラブ例会において、過剰にして形式的な審議と承認が繰り返されている事例が少なくないと仄聞する。そのようなことに貴重な時

間を消費するより、クラブ本来の奉仕活動の説明や有益なゲスト・スピーカーの講話に時間を使うことによって、より効果のある感動的・魅力的な例会の演出を可能ならしめると思うのである。ウィ・サーブ。

（税理士・76才）

終戦61周年記念回顧録

加藤　熊彦（大分県・別府いでゆ）

8月15日、61回目の終戦記念日を迎えました。当クラブには戦前派12人、戦後派20人の合計32人の会員がいます。最近、戦後派が増えてきたことで、若さを感じ意気盛んなるものを覚えます。

回顧すること昭和20年8月15日正午。私は、終戦を告げる天皇陛下の放送を東京都市ケ谷台の陸軍航軍本部で拝聴しましたが、涙と共に、いよいよ来るものが来たかと意を決するものがありました。

記録によると、空襲で焼野ケ原となった都市は日本全国で90カ所に及び、焼失戸数は35万戸以上、罹災者は８０４万5千人と言われ、その年の米の生産量は何十年来の不作で、８００万~１０００万人の餓死者が出るのは必定と言われていました。

当時、政府は当てにならず、飢えから救ってくれるものは己の才覚と努力のみで、いち早く敗戦の虚脱から脱却出来た者が勝ち残れるという厳しい現実でした。

翌16日の夜。新宿地区一面の焼野ケ原には、点々と焚火の集団が展開していました。全国各地から航空機や軍需品を納付した会社の社長や社員の方々が集金に来たとのこと。戦争には負けても、経済界は生き抜くために必死に活動し、社員の給料や諸々の支払いをせねばならぬと血眼だったのです。軍人魂も及ばぬ商人魂を感じました。

我々陸軍の経理を担当する主計は、復員官に任ぜられ徹夜で必至に請求書の精査に取り組み、支払小切手を発行しました。しかし、余りにも多額のため、日本銀行から、千円札の印刷が間に合わず、小切手の発行を中止せよと要請がありました。が、これも徐々に改善され、12月末にはすべての支払いを済ませ、解散となりました。

翌21年1月に復員。生まれ故郷の大分市に腰を下ろしましたが、その後食わんがため、唯一戦災を免れた別府市に居を構えました。しかし、経済は不況で苦境に喘ぐ人が多い最中、昭和25年に朝鮮戦争が勃発。軍需景気で息を吹き返したことが、鮮明に脳裏に残っています。

何はともあれ61年の平和が維持されて来たことは、先の大戦の愚かさ悲惨さを学習したからではないかと愚考しています。

「人間万事塞翁が馬」（世間の幸福や不幸は予想のしようがない）という古諺がありますが、良いことと悪いことの繰り返しで、滔々たる時代の流れを感じる今日この頃であります。世界を展望すると、まだまだ戦争、紛争が勃発しております。愚かなことです。我々ライオンは、ライオニズムの高揚こそ人類に平和をもたらす唯一のものだと信じ、精進致しましょう。

（印刷業・88歳）

俳壇

■選者　森　澄雄

【特選】

鯖街道野分に追はれ急ぎ旅　（埼玉県・大宮中央）尾形　康夫

（評）鯖街道は若狭と京を結ぶ若狭街道の異称。若狭でとれた魚貝類を一夜のうちに京へ運ぶ最短ルートで、海辺で一塩した鯖が、京へ届くうちにほどよく味がしみるので鯖街道ともいわれた。もっぱら淡水魚しか口に入らぬ京の人にとって、若狭の海産物は珍味だったにちがいない。秋の野の草を吹き分け通る強い風に追われて旅を急いでいるのだ。

応挙寺虎の眼光月今宵　（大阪夕陽丘）角野桂治郎

（評）応挙寺は本名大乗寺。兵庫県城崎郡香住町森にある。天平17年（745年）行基が開創したと伝え、のち火災により衰退したが、江戸時代中期、密英が復興した。円山応挙が無名時代、密英の援助を受け、子弟を率いて当寺に滞在、客殿内部の襖や壁に165面の障壁画を描き上げた。応挙の「山水図」「郭子儀図」「孔雀図」をはじめ円山派一門の美術館というべきもので、一括して重要文化財となっている。虎の絵の眼光が満月に生きているように炯炯（けいけい）としている。

（投稿要領→11月号62ページ）

【入選】▼

雪かむり凛と聳ゆる岩手富士　（岩手県・藤沢岩手）藤沢　誠

通天橋野分に揺るる谷紅葉　（千葉県・船橋シニア）小嶋　廣次

時雨るるや肩触れあひて一つ傘　（愛知県・南知多）内田二三子

着替へたる母の手縫ひの秋袷　（愛知県・高浜）岩月　三則

午後の茶を木犀の香のベランダに　（東京御茶の水）栗原保之助

何時よりか虫の声聞く夜となり　（岐阜県・大垣東）大橋庄一郎

独り身の自由淋しき秋の暮　（三重県・松阪はなしょうぶ）大西　さよ

手を打ちて鯉の寄り来る花はちす　（三重県・四日市中央）若山　一清

秋風のなかなる遊行柳かな　（福井県・敦賀）山本　麓潮

盆踊果てたる虫の鳴き出しぬ　（兵庫県・神戸シニア）中村麦芽子

合掌の手に涼風の道祖神　（大阪府・池田）池内　彰

たどり来し高野大門鰯雲　（大阪府・堺浜寺）宮部　嘉博

山里の畦道ごとの曼珠沙華　（滋賀県・志賀堅田）小笹　均

座敷にて日当り求め本めくり　（島根県・浜田マリン）永岡　栄子

港口のかなた落ちる日秋夕焼　（長崎北）平山　兼則

歌壇

■選者　春日真木子

【特選】

青ひといろの空見上げつつ葡萄食む喉もとをすぐ甘美の秋が
（新潟八千代）荻島　俊雄

（評）秋の空は「青ひといろ」に深く匂やかでもある。こころよく空を見上げながら、これもまた紫のふかい葡萄を食べている。空を見上げながら食べるとあるから、葡萄棚から直接摘んで味わっているのかもしれない。葡萄の甘美な香りが咽喉をすべる。それを「甘美の秋」が過ぎると表現しており、秋の甘さ、うつくしさを味わっているのである。ここで歌の幅が一つひろがった。「青ひといろの空」は、大気の澄んだ秋の空の特色を捉えて、葡萄との取り合わせの妙もある。今号は、大森、松本氏の作品にも注目した。

（投稿要領→11月号62ページ）

【入選】▼

ダンプカーの舞い上げし風に煽られてニッカポッカの裾ふんわり揺れる
（北海道・訓子府）吉野　良子

さびしがる私の心に虫が来て鉦をたたくよ家内（やぬち）のどこか
（青森まほろば）加藤　捷三

み社へとむかふ石段足元を濡らせる萩の冷たく撓ふ
（栃木県・小山西）大森由紀子

海老網の禁漁の日の来たるまで腰庇ひつつ休まぬ老漁夫
（千葉県・房総勝浦）君塚　一雄

世事すべて遮断されたる病室のベッドは白し思ひは黒し
（千葉県・館山中央）荻野　貴子

八月の末に早くも満載の米の車の意気溢れ見ゆ
（千葉県・東庄）宇井　秀雄

大鉢にどっしりと葉をしげらせて君子蘭咲く町医者の門
（神奈川県・小田原）清水　幾代

緑濃き峡間の水に浸したる脚より清き水を吸いあぐ
（石川県・羽咋）竹津　弘子

こんなにも身近にありて知らぬふりしてをりあはれ死といへるもの
（大分県・中津沖代）松本　達雄

鮎串を合掌のごと立てており炭火に焼く人ころをうかがう
（宮崎県・日向）児玉　憲幸

柳壇

■選者　大木俊秀

【特選】

言うまいと決めた台詞が胃に残り　（青森県・八戸中央）大久保健峰

（評）「おぼしきことを言はぬは、げにぞ腹ふくるる心ちしける」と、平安時代の歴史物語『大鏡』にある。言いたいことを言わないために不満がたまって気分が悪いことだ。しかし、そいつを言っちゃあおしまいよ、というケースにしばしば出会う。じっと堪えるのが大人の分別というものだ。

見送っていても子供は振り向かず　（福井県・敦賀みなと）田中　信幸

（評）久しぶりに子供が帰省してきた。親は心をこめて歓待する。帰る時には、あれも持って行け、これも提げて行けと、おみやげもどっさり。玄関から道に出て角まで見送る。「今度はいつ帰ってくるの？体に気をつけてな」「じゃあね」。親はいつまでも見送っているのに振り向きもしない。親の心を子は知らぬ。

（投稿要領→11月号62ジペー）

【入選】▼

生きている証か朝の茶がうまい　（青森県・五所川原）坂本　憲昭

ネクタイの裏に野心を秘めておく　（青森県・弘前中央）高橋　敬

うたた寝へ老眼鏡も休ませる　（岩手県・藤沢岩手）及川　平一

苦笑い着られたはずの一張羅　（岩手県・水沢中央）佐藤加代子

丸刈にされて稲田は冬を待つ　（新潟県・五泉）佐藤　隆吾

新型車酒の匂いで動かない　（千葉県・船橋シニア）灘山　徳治

祝に忌に老後の備え痩せてゆく　（千葉県・東庄）藤﨑　久男

新聞のチラシ握って買いものに　（福井県・美浜）山路　義隆

退職後違った父が見えて来た　（大阪カトレア）榎本　洋子

定年で群れないくらし手に入れる　（大阪中部）永井　拳

太り過ぎ止めた煙草のせいにする　（鳥取県・倉吉打吹）野口　快景

ダイエット今泣いたのは腹の虫　（鳥取県・倉吉打吹）田原隆之助

銃創の記憶に風化せぬ修羅場　（宮崎橘）井上　忠一

天然と言われて覗く籠の鮎　（宮崎県・日向）児玉　憲幸

美しい日本も良いが住みやすく　（長崎北）平山　兼則

MY BEST SHOT

選：河相正名（日本写真家協会会員）

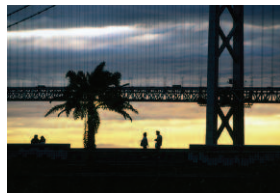
上野春夫
広島県三原
[阿波踊り]

●選評

見事に並んだ連の踊り子たち。顔が腕で遮られ、見たいような気もするが、見えないことでより色気を感じる。腕から胴、腰、膝、つま先に至る一連の流れが、この作品のキーポイントとなっている。指先が切れているのは残念。斜めからの光線が立体感を生み、リズム感をうまく表現している。

優秀作

安藤正一　愛知県豊田
[刈込み前]

岩佐清　岐阜県高山［朝顔］

松下正治　大阪梅田新道
[海辺の語らい]

田尾忠士　愛媛県新居浜ひうち
[走り込み]

入選

横内孟　山梨県南アルプス［木道］
齊藤勉　北海道斜里［大空と大地］
木村文丸　青森県弘前［稲刈り祭り
菅谷寛　千葉県小見川［気の弱いスターター］
畔柳東一　愛知県岡崎竜城［ひと息］
梅田尊　愛知県豊田［ハイ チーズ］
成瀬正幸　愛知県豊田［残雪］
山本壽一　大阪港［元気］
髙山勇　和歌山県富田川［安らぎの場］
吉野耕司　京都府宮津［秋・脱穀母親孝行］
菊野善之助　愛媛県松山ホスト［彼岸花］
重藤一美　広島県甲山［2006全日本モトクロス選手権 第9戦］
山野智要之亮　広島あさひ［秋の訪れ］

全作品は国際協会公式ウェブサイトでご覧頂けます。　http://www.lionsclubs.org/JA/TheLion/MBS/index.html

LIONS GALLERY

「ジャーマンアイリス」 ステンドグラス120×40センチ 1対

ステンドグラスを始めて15年程になります。そのほとんどは趣味程度の制作活動でした。そのような私にライオンズ会員の方から、経営するマンションのエントランスにステンドグラスを入れてほしい、と依頼がありました。少し迷ったのですが、「作品の発表の場と考えて、自由な発想で作ってください」というオーナーの言葉に決意しました。

制作は時間との戦いでしたが、7

齋藤くに子
宮城県・仙台五城
ライオンズクラブ家族
主婦

月から始めて、何とか3月の落成式に間に合わせることが出来ました。これが、その作品「ジャーマンアイリス」（ドイツアヤメ）です。

何よりもオーナーに喜んで頂けたことが作品に対する評価かな、とうれしく思いました。大変でしたが、充実した日々を送らせて頂いたことに深く感謝しています。

（さいとう　くにこ・55歳）

クラブ会員刊行物

●日本大神楽事典

著者／柳貴家勝蔵（ライオン大高宣靖／茨城県・水戸ライオンズクラブ）　発行／㈱彩流社（TEL 03・3234・5931）

A5判　本文171ページ
3,000円

水戸大神楽師である著者が、現在伝承されている大神楽の三大流派である「伊勢大神楽」「江戸太神楽」「水戸大神楽」の芸能・芸態・符牒・歴史などの違いを一冊にまとめた画期的な事典。

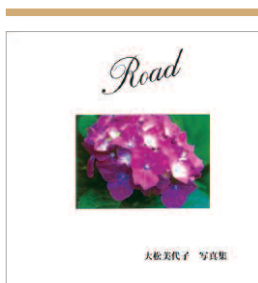
●新四国88カ所霊場めぐり

著者／樋口正洋（群馬県・太田中央ライオンズクラブ）　発行／上毛新聞社出版局（TEL 027・254・9966）

A5判　本文106ページ
1,500円

群馬県内（太田市・伊勢崎市・桐生市）の新四国霊場を紹介した案内書。これらを巡ることによって、四国遍路したと同様の功徳を積むことが出来るという。

●Road

著者／大松美代子（福岡ノーマライゼーション・ライオンズクラブ家族／TEL 092・531・4757）

230×230ミリ　本文35ページ
非売品

父の形見のカメラで撮った旅先でのスナップがきっかけで始まった写真人生。今までの道のりをまとめた写真集。

➔ライオン誌事務所来訪者芳名録

10 11　東京葵　吉﨑　光男
10 18　兵庫県明石魚住　永谷　仁
10 19　北海道サッポロシニア長澤　大七
10 19　北海道サッポロシニア森　一男
10 19　兵庫県神戸シニア　進藤　實
10 19　山形県天童舞鶴　寒河江潤一
10 19　京都府亀岡保津川　坂本　信雄
10 20　東京恵比寿　荘　英隆
10 20　神奈川県横浜みなとマリン　小柴　登司
10 20　兵庫県神戸一の谷　辰巳　博昭

伝言板

■LCIFスタディ・ツアー

11月号で紹介した第4回LCIFスタディ・ツアー（2007年2月9〜13日）のスケジュールに変更があった。全体の日程は同じだが、終日自由行動となっていた2月11日午前に交付事業の視察が組まれた他、12日にもスラム街の図書館見学が追加された。

詳細はツアーを取り扱っている協和海外旅行（野口正二郎社長＝東京関東ライオンズクラブ／TEL 03・3816・7971 FAX 03・3816・7977）まで。

原稿募集

■新企画「論点〜私はこう考える」

2007年1月号から新企画「論点〜私はこう考える」をスタートします。ライオンズクラブに関する率直な意見発表の場を設けると同時に、読者の皆さんから肯定論や、異論・反論をお寄せ頂いて、本誌上で建設的な意見交換や討論を展開出来ればと期待しています。下記のテーマに関する、会員の皆さんのご意見や問題提起、疑問などをお寄せください。

＜募集テーマ＞
●例会プログラム　●周年式典　●単年度制　●『ライオン』の呼称　●青少年交換（YE）　●LCIF　●清掃奉仕　●資金獲得事業　●姉妹提携　●年次大会　●地区分割
※ライオンズクラブに関する内容であれば、上記以外でも可

＜応募要領＞
■文字数：1,000〜1,200字程度の原稿にまとめてお送りください
＊採用の可否はライオン誌日本語版委員会で決定します
■締切：随時受付（受付終了の際は本誌上でお知らせします）
■送付先：
〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階
FAX：03-3546-2630　Eメール：edit@thelion.jp
ライオン誌事務所「論点」係

読者から

▼本誌へのご意見・ご感想をお寄せください。
編集部

議論がクラブを良くする

●10月号「THEME／クラブの活力とアクティビティの源泉を探る」を読ませて頂き感動致しました。クラブで何かをしようとした時、話し合いの中でとことん議論して全員が協力することはなかなか難しく、反対した人が敵になりやすくなります。でも、終わった後「やって良かった」とみんなが思えるようになれば、クラブは良くなっていく……それがいちばん大切なことだと感じました。私たちクラブも、このことを意識していきたいと思います。

大阪府・岸和田コスモス●八田章子

地元の記事に興味沸く

●最近の誌面は明るく読みやすくなりました。また、ここ2カ月ほど、地元337‐A地区に関する記事（9月号「THEME／響け、心と心のハーモニー！ 若者とライオンズの夢が結んだ『ココモニーコンサート』」、10月号「LCIF REPORT／福岡県西方沖地震におけるライオンズの被災者支援」）が大きく取り上げられ、大変興味が沸きました。

福岡南●横田英士

人の振りみて我が振り直せ

●10月号「獅子吼／絆」を拝読させて頂き、妻と二人で、他人事ではないと感じました。何事も早合点は失敗多きこと。私も、これからは5秒考えてから物を言うように心掛けたいと思います。現在、ライオンズ歴26年を目指してがんばっています。これからも皆様に助けられ、人生に悔いのないよう生きていけたらと願っています。

大分県・国見●藤原重幸

グローブの逸話

●「西鉄ライオンズの名遊撃手・豊田泰光が、セントルイス・カージナルスが来日した時に、ブレイザー二塁手（後に日本で南海のコーチ、阪神の監督）からグラブをもらい、それを同僚の仰木に譲り、仰木はゴールデングラブ賞を獲ったという話」や「中日・中堅手の中登志雄は、入団8年目に同僚の西尾投手からアメリカで購入したグラブをもらい、現役を引退するまでの12年間、ボロボロのグラブを補修しながら使った話」など……。古い本ですが、最近、近藤唯之（野球評論家）著の『プロ野球名人列伝』でこのような逸話を読んだばかりでしたので、10月号「ふるさと探訪」は、とても面白く読ませてもらいました。

広島太田川●菅原博

懐かしい、奈良・田原本町

●「ふるさと探訪／クラブ紹介」に、田原本町「唐古・鍵遺跡」が掲載されていたので、楽しく読ませて頂きました。というのも、娘が田原本町で遺跡の発掘に携わっており、私もよく訪問しているのです。昨年も唐古・鍵遺跡古学ミュージアムを見学し、勉強させて頂きました。懐かしさのあまり、思わず投書させて頂きました。

静岡県・浜松東●小栗寛

親を大切にしなければ

●10月号「こころのチキンスープ／エバとビーバー」を読んで心がほんわかしました。また、親を大切にする……心では分かっていても、つい批判的な眼で見てしまっていたことに気付かされました。良いお話ありがとうございました。

長野県・岡谷●林四郎

孫に読み聞かせたい本

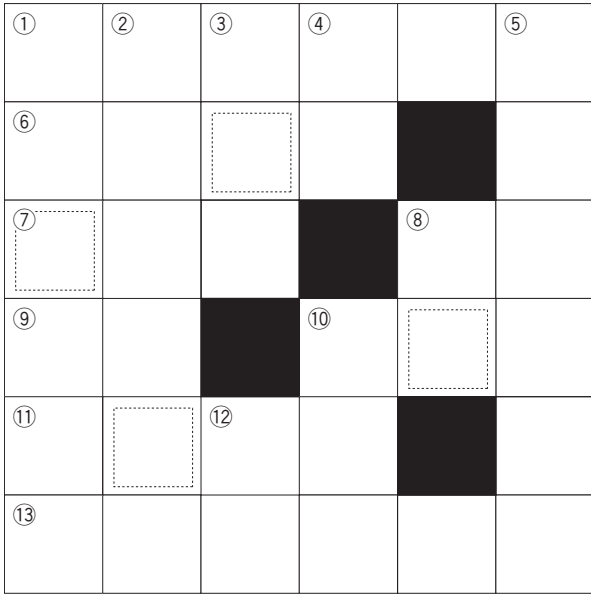
●昨年8月、小4の孫と広島へ二人旅しました。広島平和記念公園の原爆死没者慰霊碑で「戦後60年間、こんなに豊かに暮らさせて頂き申し訳ありません。安らかにお眠りくださいますように」と手を合わせて参りました。この旅行で、原爆の犠牲になられた方々の尊い命を決して無駄にしてはいけない、せめて身近な人と語り合うことで供養になればと強く思うようになりました。奇遇にも最近、NHKラジオで秋山ちえ子さん（89歳）が『星は見ている』を朗読され、その話に涙し、本の題名をメモしたばかりです。ぜひ孫に読み聞かせたいと思っています。

京都ノース・家族●山田貴子

（編）『星は見ている』の再版に尽力されたライオン大井孝三の話をウェブマガジンで紹介しています。併せてご覧ください。
www.thelion-mag.jp/modules/tinyd2/index.php?id=10

クロスワードパズル

点線に入る文字をヒントを基に並べ換えてください。正解者の中から10人の方に記念品を差し上げます。ハガキに答えと氏名、クラブ名、住所、電話番号、本誌の感想を書いてご応募ください（あて先は66ページ）。締切は2006年12月20日。

①	②	③	④		⑤
⑥		[点線]		■	
⑦ [点線]			■	⑧	
⑨		■	⑩	[点線]	
⑪	[点線]	⑫		■	
⑬					

解答 □□□□　ヒント：寒いです

↓タテのカギ

①大晦日の夜に食べます
②昔のことを調べて、新しい知識や見解を得ること
③船が岸壁を離れること
④人込みなどで、他人の金品を盗み取る人
⑤憲法に基づいて政治を行う制度
⑧鶏の肉を取ったあとの骨
⑩代々その家に伝わる教えや戒め
⑫江戸中期の俳人、◯◯蕪村

←ヨコのカギ

①たまたま通りあわせること
⑥軍隊が退却する時、最後尾で敵を防ぐ役
⑦昔から今まで
⑧山や海岸などの、険しく切り立った所
⑨借金の担保として預けおくもの
⑩水道の蛇口
⑪質素な食事
⑬改まった感じの豪華な夕食会

■前回の答え

①ニ	②ジ	③ユ	④ウ	⑤バ	⑥シ
⑦イ	チ	ゲ	ン	サ	ン
⑧ナ	ン	■	⑨メ	シ	タ
メ	■	⑩ア	イ	■	イ
⑪サ	⑫ワ	ー	■	⑬イ	ソ
⑭イ	キ	ト	ウ	ゴ	ウ

答えは「七五三」

読者プレゼント

■対馬名菓を5人の読者に

「ふるさと探訪」に登場したつしまライオンズクラブから、名菓対馬十万石本舗・あさづま（ライオン朝妻正雄）の「かすまき」が5人の読者にプレゼントされます。

かすまきは、砂糖、卵、小麦粉を原料に焼き上げた厚めの皮に、あっさりしたあんこをくるんだ、対馬を代表するお菓子。かすまきの語源は「カステラで巻いたもの」という説もあり、江戸時代に参勤交代で無事帰国する対馬藩主を祝って、何か珍しくておいしいものを献上しようと作ったのが始まりとも言われています。そのままでおいしく頂けます。電子レンジなどで温めてもまた風味が引き立ちます。

プレゼント応募要項

はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、クラブ名と「かすまき」「日本大神楽事典」「明日展チケット」とご希望の品を明記し、下記のあて先へ。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は12月末日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　ライオン誌事務所

ウェブサイトからの応募
www.thelion-mag.jp/modules/form1

■『日本大神楽事典』を5人の読者に

「会員刊行物」欄で紹介したライオン大高宣晴から、著書『日本大神楽事典』が5人の読者にプレゼントされます。

水戸大神楽師である著者が、日本の三大神楽「伊勢大神楽」「江戸大神楽」そして「水戸大神楽」の違いを、事典の形でまとめた画期的な一冊です。

■「DOMANI・明日展　2007」チケットを10人の読者に

2007年1月11日～2月18日、東京・新宿の損保ジャパン東郷青児美術館で開催される「DOMANI・明日展　2007」のチケット（2枚1組）が10人の読者にプレゼントされます。文化庁が将来の日本の芸術界を担う芸術家を養成するために、若手芸術家を対象に実施している「芸術家在外研修」修了者の成果を発表するものです。12カ国に派遣された30人の新進芸術家たちの、魅力あふれる作品が展示されます。

ウェブ・マガジン・ナビ
www.thelion-mag.jp

『ライオン』誌ウェブマガジンでは、国内のライオンズ・ニュースを集めた「**ヘッドライン**」や国際的な情報を伝える「**国際理事メッセージ**」、各地区ガバナーの方針やキャビネット運営の特色、スタッフの横顔などを紹介する「**キャビネット訪問**」を始めとする記事の他、最新の会員数統計や日本ライオンズの歴史などの資料も掲載しています。

「**ライオンズ情報資料**」内の「会員フォーラム」では、「例会アイデア集」「テール・ツイスター虎の巻」「会員増強アイデア集」で、実際にクラブが取り組んだ事例を紹介しています。ぜひ、参考にしてください。

次号予告

THEME
会員増強

多くのクラブが会員増強の必要性を痛感しながら具体的な手段が見つからずにいる。そこで、昨年度中に大幅な会員増に転じたクラブや、年間に会員純増を成し遂げた地区にその秘訣を明かしてもらった。国際協会による「最善の会員増強コンテスト」で受賞した世界のライオンズクラブのアイデアからもピックアップ。

PICK UP
PRの重要性

国際理事会PR委員会に所属する伏見龍国際理事を囲み、内外PRにおける『ライオン』誌の役割を探る座談会。

ROAR・ローア
——まるごと330複合地区

1月号は330複合地区特集。「トピックス」は東京中野剣道、東京麻布、神奈川県横浜久良岐、山梨県上野原、埼玉県ところざわの各クラブ。「ふるさと探訪」は東京・両国を訪ねる。江戸時代、隅田川に架けられた両国橋が、武蔵と下総の二つの国を結ぶことからこの名が付いた。日本の橋の名に由来する両国の街には、日本の国技である相撲の殿堂・両国国技館や相撲にまつわる資料を集めた相撲博物館が置かれ、更には数々の相撲部屋が点在する。その一つ、八角部屋を訪ね、朝稽古を見学し、力士の食事、ホンモノのちゃんこにもお呼ばれした。

編集室

シカゴ国際大会に日本から800人の代議員を

ライオン誌
日本語版委員長
◉
砂田繁雄

9月10日、愛知県名古屋市のウェスティンナゴヤキャッスルホテルで、ジミー・ロス国際会長の334・335複合地区公式訪問が開催された。

スピーチでは、日本ライオンズのLCIF・CSFⅡなどの功績をたたえ、国際協会や国際会長の方針を示され、多くの会員に目標達成に向けて協力を懇請された。私はその情熱と、包容力を肌で感じ、深い感銘を覚えた。

この日、国際会長のスピーチに先立ち、山田實紘国際理事は、数年後の国際協会第2副会長への立候補を表明している、335複合の福井正憲元国際理事をステージに招き、国際会長及び出席会員にアピールした。

これを受けて福井元国際理事は、1981年の村上薫国際会長、1989年に国際会長を目前に志半ばで亡くなられた小川清司国際第1副会長以来、日本から国際会長が出ていないことに触れ、日本のライオニズムを世界に示すため立候補したい、と力強い意志を表明された。ロス国際会長からもスピーチの中で、日本から国際会長となる人材を出してほしいとの呼び掛けがあった。

山田国際理事は国際大会において、日本のライオンズクラブ代議員が投票権を行使してほしい。それを実現することによって、日本のライオンズクラブは、世界をリード出来る立場に立てると力説されている。

今こそ、日本のライオンズにとっての正念場。最も大事な時期であると思う。3400余クラブ、12万人の会員が、ライオニズムで世界をリードするためにも、来年のシカゴ国際大会において800人の代議員投票を実現することは、大きな意味を持つ。投票数の増加を達成し、日本の結束力を示すことで、日本からの国際会長誕生の願いは必ず実現するはずだ。

そのためには、今から準備をする必要がある。日本ライオンズが力を合わせることにより、25年の空白を埋め、長年の夢である国際会長を日本から送り出そうではありませんか。

Official publication of Lions Clubs International.

We Serve

Published by authority of the Board of Directors in 21 languages – English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Polish, Indnesian and Thai.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版委員会
国際理事　伏見龍·山田實紘·谷野徹
委員長　砂田繁雄(334)
編集長　菊池清二(332)
委員　中島洋吉(330)·古谷野環(331)
笹本瞭(333)·松田毅(335)
尾崎明雄(336)·井村一男(337)

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代)　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp
Website:www.thelion-mag.jp

第90回国際大会はライオニズム発祥の地シカゴで

ライオンズクラブは1917年、アメリカ・イリノイ州シカゴに誕生した。創設者メルビン・ジョーンズの夢の実現である。

シカゴでは当時、共に昼食をとりながら情報交換をする会がたくさんあった。ジョーンズが所属する「ビジネス・サークル」も、その一つだった。が、彼は次第に、単なる社交と職業上の利益を目的とした会に満足出来なくなっていく。「意欲、知力、野心によって成功している会員たちの能力を地域社会向上に活用させる、全米的な組織が作れないだろうか」。ジョーンズはアメリカ国内の類似のクラブに呼び掛けた。

ライオンズのマザークラブ―シカゴ・セントラル・ライオンズクラブの母体となったビジネス・サークルの面々（中央がメルビン・ジョーンズ）。シカゴ博物館前で

1917年6月7日、これに応じたクラブの代表20人がシカゴのラサールホテルに集まった。組織の名称は、ここに参加した一つのクラブの名前をとって「Association of Lions Clubs」とすることが決定。

ライオンズクラブの誕生である。

●シカゴ国際大会主要日程

2007年7月3日（火曜日） 開会式
2007年7月4日（水曜日） インターナショナル・パレード
2007年7月5日（木曜日） 第2本会議
2007年7月6日（金曜日） 投票／閉会式

※国際大会参加に関する詳細は、各複合地区国際大会委員会へご照会ください